

## 取扱説明書

04-WRX-7000series-UM-02 040202


デジタル CM マシン	WRX7200	4CH 接点録音再生	
デジタルアナウンスマシン	WRX7700	8CH 接点録音再生	255CH- RS232C/バイナリ再生
デジタルアナウンスマシン	WRX7800	16CH 接点録音再生	255CH- RS232C/バイナリ再生

このたびは、WRXシリーズをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。  
本機の優れた機能をご理解頂き、末永くご愛用頂くためにも、この取扱説明書をよくお読み下さい。

適用 CF カード	カード容量	バッファロー	IO データ機器	
	32MB	RCF-X32MY	CFS-32MA	CFS-32M(HI)
	64MB	RCF-X64MY	CFS-64MA	CFS-64M(HI)
	128MB	RCF-X128MY	CFS-128MA	CFS-128M(HI)
	256MB	RCF-X256MY	CFS-256MA	CFS-256M(HI)

(ご注意) 必ず、指定メーカー・型式のカードをご使用下さい。(参照 23.適用メモカード)  
使用できないタイプの Flash カード「コンパクトフラッシュ」があります。  
新規カードは Windows パソコン上でフォーマットしてからご使用下さい。

録音できない場合	新規カード	1.全プロテクトスイッチ (MODE1-6)が ON になっている場合
	録音済カード	1.登録エディタソフトで WAVE ファイル登録した場合で WRX001~4(8/16).wav 以外のファイル名の場合 2.全プロテクトスイッチ (MODE1-No.6)が ON になっている場合
	その他	1.不適合な Flash カード「コンパクトフラッシュ」を使用した場合 2.デジタルカメラのフォーマットになっている場合
録音上のご注意	上書き録音	WRX シリーズは「上書き録音」です。 上書き禁止する場合、全プロテクトスイッチ (MODE1-6)が ON
	チャンネル消去	できません。 各チャンネルを無音にしたい場合、無音を録音して下さい。
	レベルオーバー	マイク・ライン入力には AGC がありません。レベルオーバーしないよう録音して下さい。レベルオーバーした場合、その箇所はビットノイズになります。
操作ボタン	プッシュロック式	CH1~4(8/16)、MIC(LINE-CM)ボタン プッシュロック (オルタネイト)式を採用しています。 録音操作、マイク放送操作など REC または STOP ボタンとの同時操作の場合、ON 後、必ず、OFF にして下さい。OFF にしない場合、再生状態になります。
	プッシュ式	REC、STOP ボタン プッシュ (モーメントリ)式を採用しています。

ご注意 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水、湿気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないで下さい。火災、故障、感電の原因になります。</li> <li>●本装置の接続、カードの挿入・交換、各種設定・変更の際は、感電事故を避けるため、必ず、電源を切ってから行って下さい。</li> <li>●本装置の定格範囲外で使用されますと、故障が起きたり、十分な機能が発揮できないことがあります。</li> </ul>
--	--

VoiceNavi 三共電子株式会社

http://www.voicenavi.co.jp

E-mail:info@voicenavi.co.jp

# VoiceNavi

## 目次

1	概要	3
2	特長	3
3	主な用途	3
4	商品構成	4
5	オプション	4
6	録音時間(登録時間)	4
7	適用電源	5
8	各部の名称と機能 WXR7200II/WRX7700II/WRX7800II フロントパネル /リアパネル /端子台 (機種別) フロントパネルの表示 LEDについて(全機種共通)	5
9	設定 モードスイッチ1	10
10	設定-再生モード	10
11	設定-インターバルタイマー (適用再生モード-通常再生モード)	11
12	設定-全プロテクトスイッチ (録音・初期化処理・オールクリア処理の禁止)	11
13	設定-録音時のサンプリングモード (音質)	12
14	マイク・ライン入力	12
15	スピーカー出力・ライン出力	13
16	適用メモ리카ード( CF カード) (注)指定メーカー・型式	14
17	設置・収納	15
18	接続・配線	15
19	操作-再生制御(個別 CH再生全 CH再生)	18
20	操作-再生モードの説明 1 (再生モードと使用用途)	19
21	操作-再生モードの説明 2 (接点制御) 通常再生モード/通常再生モード(ライン /スルー機能) 後入力切替再生モード 優先順位再生モード 順番再生モード マイク放送モード	20
22	操作-再生モードの説明 3 (バイナリ制御)	24
23	操作-再生モードの説明 4 (RS232C 制御)	25
24	操作-録音 【録音モニターを使用しない場合】 【録音モニターを使用する場合】 録音データのバックアップとコピー・再利用・編集加工	27
25	パソコン上での WRX シリーズ用カードデータの作成 【WRX シリーズで録音したカードを読みこみ、プログラム登録したい場合】 【既存の WAVE ファイルの使用したカードデータを作成したい場合】	30
■	標準仕様・外形寸法図 WRX7200II WRX7700II WRX7800II	34
■	入出力信号&タイミングチャート	40
■	入出力等価回路	41
■	接続参考図(接点制御・バイナリ制御の場合)	42
■	接続参考図(シーケンサ等との接続の場合)	43
■	オールクリア処理 (管理データファイル内容の消去)	44
■	初期化処理(不良セクター対策)	44
■	自己復旧機能(CPU 異常時アラーム出力)	45
■	エラー対策シート (トラブルシューティング) 【パソコン・カードアダプタ・登録エディタ VoiceNavi Editor がない場合】 【登録エディタソフト VoiceNavi Editor でカード作成したカードの場合】	46

# VoiceNavi

## 1.概要

WRX7000 シリーズは、記憶媒体に書換え可能な CF カード(コンパクトフラッシュ)・音源に WAVE ファイル形式 (44.1KHz/22.05KHz 16Bit/8Bit Mono) 採用、マイク・ラインからダイレクト録音、または Windows パソコン上で作成したカードデータにも対応したデジタル録音再生ユニット (CM マシン・アナウンスマシン) です。CF カード・WAVE ファイル採用により、Windows パソコン上で録音データの加工・編集、既存の音声データ (WAVE ファイル) も登録できますので、音声データの追加・変更などの保守メンテナンスが容易にできます。

## 2.特長

### 【共通】

- ダイレクト録音 (MIC やライン入力による CD 音質 44.1KHz/22.05KHz 16Bit/8Bit Mono)
- CF カード(コンパクトフラッシュ) 32/64/128/256MB
- 最大録音時間 44 分 max. (44.1KHz/16Bit 256MB カード使用時)
- ライン出力 600Ω 不平衡 (ラインスルー機能付)
- 5Wmax.8Ω 高出力スピーカーアンプ搭載
- マイク放送モード(カード再生中でも割込で 5W マイク放送ができます)
- 用途別 4 再生モード (通常/後入力切替/優先順位/順番)・インターバルタイマー機能 0/1~15 分/20/30/45 分
- WAV/WRX シリーズ用登録エディタソフト VoiceNavi Editor (ボイスナビエディタ) 対応
- <テキスト入力>アナウンサーソフト VoiceNavi Announcer (ボイスナビアナウンサー) 対応

### 【WRX7200II】

- 4CH-接点制御 押しボタン (録音再生)/端子台(再生)
- EIA1U ハーフサイズ 210×44×180mm EIA ラック収納対応
- AC100V 電源

### 【WRX7700II】

- 8CH 接点制御-押しボタン /端子台 (録音再生)
- 250CH-RS232C/バイナリ制御 (再生専用)
- EIA1U サイズ 420×44×180mm EIA ラック収納対応
- AC100V/DC+24V-2 電源対応

### 【WRX7800II】

- 16CH 接点制御-押しボタン /端子台 (録音再生)
- 250CH-RS232C/バイナリ制御 (再生専用)
- EIA1U サイズ 420×44×180mm EIA ラック収納対応
- AC100V/DC+24V-2 電源対応

## 3.主な用途

型式	主な用途	備考欄
WRX7200II	スーパー/デパートの生鮮食品コーナーの音声 CM・POP	4CH-接点制御(録音再生)
	駅自動改札口・駅券売・精算窓口での注意放送・案内放送	4CH-接点制御(録音再生)
	旧フェディリパック式、カセット式 CM マシンの後継機	4CH-接点制御(録音再生)
WRX7700II	PA(拡声) 通信システムの音源	8CH-接点制御(録音再生)
	旧カセット式 CM マシンの後継機	8CH-接点制御(録音再生)
	工場・監視・制御システムの音源	255CH-RS232C(再生)
	パーラー 駅 TV 監視・無線インターカムの音源	255CH-バイナリ(再生)
WRX7800II	PA(拡声) 通信システムの音源	16CH-接点制御(録音再生)
	旧カセット式 CM マシンの後継機	16CH-接点制御(録音再生)
	工場・監視・制御システムの音源	255CH-RS232C(再生)
	パーラー 駅 TV 監視・無線インターカムの音源	255CH-バイナリ(再生)

# VoiceNavi

## 4.商品構成

下記の構成になっています。

名称	数量
本体(WRX7200II または WRX7700II、WRX7800II)	1 台
取扱説明書・保証書	各 1 部

## 5.オプション

Flash カード	CF カード(コンパクトフラッシュ) 32/64/128/256MB	市販品可 【指定メーカー・型式】 バッファロー RCF-X32MY/X64MY/X128MY IO データ CFS-32MA/64MA/128MA
マイク		市販品可 600Ω ミニプラグ
スピーカー		市販品可 5Wmax.8Ω
補助金具	WAV-EIA210S	WRX7200II 1 台を EIA ラックに収納する場合
	WAV-E/2S	WRX7200II 2 台を EIA ラックに収納する場合
	WAV-LKANAGU	L 金具 WRX シリーズを据置 / 固定する場合
	WAV-L44 または相当品	WRX7700II/7800II 1 台を EIA ラックに収納する場合
ソフト	<テキスト入力>アナウンサーソフト VoiceNavi Announcer (ボイスナビアナウンサー)	テキスト入力で試聴・WAVE ファイル出力・保存できる Excel アドオンソフト ・CD-ROM 版 (VoiceNavi Editor の収録) ・パック版( CD+カードアダプタ)
	登録エディタソフト VoiceNavi Editor (ボイスナビエディタ)	パソコン上で WAVE ファイル登録したい場合 ・CD-ROM 版 パック版( CD+カードアダプタ) ・無償ダウンロード版
	再生制御シュミレータソフト VoiceNavi Simulator (ボイスナビシュミレータ)	登録エディタソフト VoiceNavi Editor で作成したカードデータを使用して、パソコン上で再生制御のシュミレーションができます ・無償ダウンロード版
	実機再生試験用ソフト VoiceNavi Tester (ボイスナビテスタ)	Windows パソコン -WRX7700II・WRX7800II を接続して、再生テストできます。 ・無償ダウンロード版

## 6.録音時間(登録時間)

### 録音時間

録音できる時間は録音時のサンプリングモード並びにカード容量による異なります。

録音時のサンプリングモードはリアパネルのモードスイッチ 1 で設定します。標準は 44.1KHz 16Bit Mono です。

	用途	No.	サンプリングモード	録音時間 max.			
				32MB	64MB	128MB	256MB
推奨	アナウンス・効果音・音楽	1	44.1KHz 16Bit Mono	5.6 分	11.2 分	22.4 分	44.8 分
推奨	アナウンス	2	22.05KHz 16Bit Mono	11.2 分	22.4 分	44.8 分	89.6 分
	アナウンス( WAV シリーズ互換)	3	44.1KHz 8Bit Mono	11.2 分	22.4 分	44.8 分	179.2 分
	アナウンス( WAV シリーズ互換)	4	22.05KHz 8Bit Mono	22.4 分	44.8 分	89.6 分	358.4 分

### 混在サンプリング

各チャンネルの録音の際、異なるサンプリングモードで録音できます。

アナウンスは 22.05KHz 16Bit モード、効果音は 44.1KHz 16Bit で録音することにより、メモリカードを有効に使用できます。

### 【6Bit/8Bit 録音時の録音時間と音質】

16Bit で録音した場合、録音時間(メモリ容量)では 8Bit 録音に比べ 1/2になります。

音質は 8Bit 録音の 256 倍の分解能で録音しますので、高音質になります。

16Bit で録音することを推奨します。

# VoiceNavi

## 再生時間

本体でのダイレクト録音の場合、各チャンネルに録音した時間が再生時間になります。

登録エディタ VoiceNavi Editor で既存 WAVE ファイルを使用してカードデータを作成した場合、プログラム登録の有無、内容により増す。

ダイレクト録音の場合	各チャンネルに録音した時間	
登録エディタ VoiceNavi Editor でカード作成した場合	プログラム登録しない場合	各チャンネルに登録した WAVE ファイル時間
	プログラム登録した場合	組立再生登録、リポート回数登録した内容による

## 7. 適用電源

WRX7200II/7700II/7800II シリーズは商用 AC100V 電源に接続して使用します。

WRX7700II/7800II は DC+24V (または DC+12V) 電源でもご使用できます。この場合、AC100V 電源は接続しないで下さい。

### 商用 AC100V 電源で使用する場合

型式	AC 電源	DC 電源
WRX7200II	AC100V 50/60Hz 24Wmax.	×
WRX7700II	AC100V 50/60Hz 25Wmax.	○
WRX7800II	AC100V 50/60Hz 25Wmax.	○

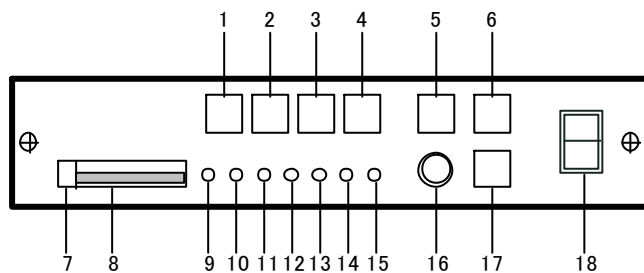
WRX7700II/7800II を DC 電源で使用する場合 (動作時、通常再生モード・ SW1~8/16 を全て ON・音量 VR 最大の場合)

型式	電圧範囲	消費電流		備考
		待機時	動作時	
WRX7700II	DC+24V±5%	約 150mA	約 500mA	SP OUT 5Wmax. 8Ω
	DC+12V±5%	約 220mA	約 400mA	SP OUT 1Wmax. 8Ω
WRX7800II	DC+24V±5%	約 150mA	約 500mA	SP OUT 5Wmax. 8Ω
	DC+12V±5%	約 220mA	約 420mA	SP OUT 1Wmax. 8Ω

(注) WRX7700II/7800II に DC 電源を接続する場合、AC100V 電源は接続しないで下さい。

## 8. 各部の名称と機能

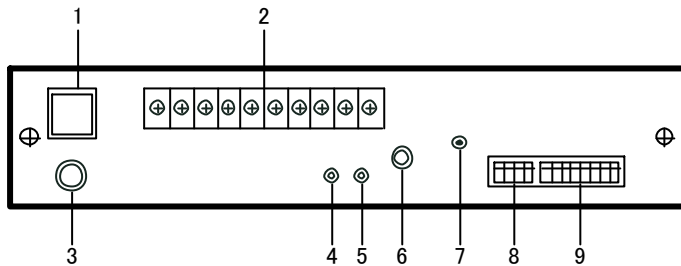
【WRX7200II】



No	表示	名称	機能
1-4	1-4	チャンネルボタン 1-4	再生時/録音時/各種設定時使用
5	STOP	ストップボタン	再生時/録音時/各種設定時使用
6	REC	録音ボタン	録音時使用
7	EJECT	エジェクトボタン	CF カード排出用プッシュボタン
8	Flash Card	カードコネクタ	CF (コンパクトフラッシュ) カード用コネクタ
9	CD	カードイン LED	CF カードがコネクタ IN 時、点灯
10	PLAY	再生中 LED	再生中点灯 並びに各種エラー表示
11	REC	録音中 LED	録音中点灯
12	ER	エラー LED	初期化処理/オールクリア等各種処理時点灯
13	LEVEL	入力レベル LED	マイク入力のレベルオーバー時に点灯
14	ALM	アラーム LED	サイズ等で CPU が暴走した場合に点灯、電源再投入で消灯
15	POWER	電源 LED	電源 ON 時、点灯

# VoiceNavi

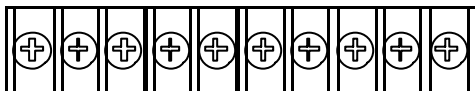
16	Volume	音量ボリューム	スピーカ出力音量調整用 (注)リアパネルの VR 使用不可
17	MIC-CM	マイク放送ボタン (ラインスルーボタン)	優先的にマイク放送モードでマイク入力できます。 (ラインスルーで BGM 放送したい場合、使用します。)
18	POWER	電源スイッチ	電源 ON/OFF



No	表示	名称	機能
1	FUSE	ヒューズホルダー	ヒューズ 2A
2		端子台	下記参照
3	AC IN	AC 電源コード	AC100V 電源と接続します。
4	MIC IN	マイク入力	マイク入力用ミニジャック
5	LINE IN	ライン入力	ライン入力用ミニジャック
6	LINE OUT	ライン出力	ライン出力用 RCAピンジャック
7	VR	ボリューム	スピーカ出力用音量調整
8	MODE2	モード 2 スイッチ	録音プロテクトチャンネル設定用
9	MODE1	モード 1 スイッチ	制御モード、タイマー、録音サンプリング周波数設定用

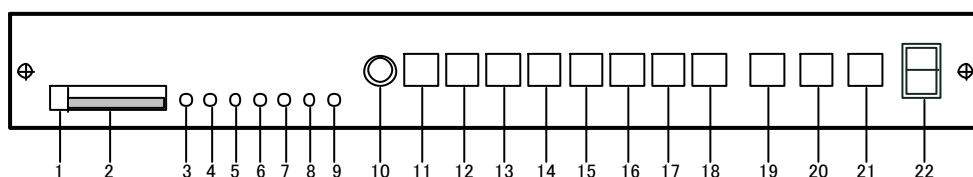
## 【端子台】 M3 × 10P

SP SP 4 3 2 1 STOP OP BUSY COM  
+ -



表示	名称	I/O	機能
SP+	スピーカ出力+	O	5Wmax.8Ωスピーカと接続します。
SP-	スピーカ出力-	O	5Wmax.8Ωスピーカと接続します。
4	接点端子 4	I	接点制御 /SW4
3	接点端子 3	I	接点制御 /SW3
2	接点端子 2	I	接点制御 /SW2
1	接点端子 1	I	接点制御 /SW1
STOP	接点端子 STOP	I	接点制御 /STOP
OP	接点端子 OP	I	接点制御 /OP
BUSY	接点端子 BUSY	O	接点制御 /BUSY
COM	接点端子 COM		接点制御 COM

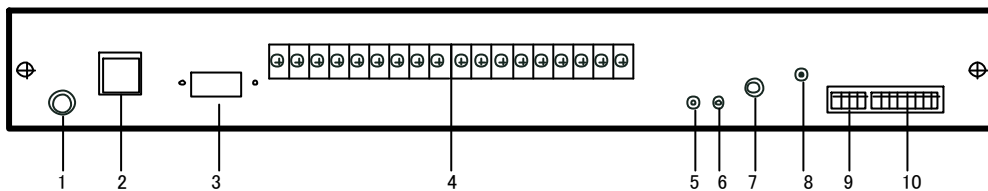
## 【WRX7700 II】



No	表示	名称	機能
1	EJECT	エジェクトボタン	CF カード排出用プッシュボタン
2	Flash Card	カードコネクタ	CF (コンパクトフラッシュ)カード用コネクタ
3	CD	カードイン LED	CF カードがコネクタ IN 時、点灯

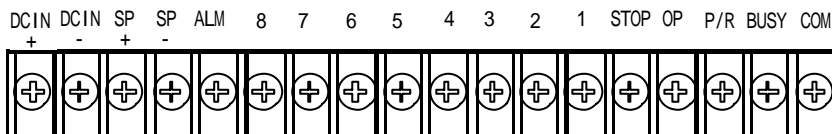
# VoiceNavi

4	PLAY	再生中 LED	再生中点灯 並びに各種エラー表示
5	REC	録音中 LED	録音中点灯
6	ER	エラー LED	初期化処理/オールクリア等各種処理時点灯
7	LEVEL	入力レベル LED	マイク入力のレベルオーバー時に点灯
8	ALM	アラーム LED	ノイズ等で CPU が暴走した場合に点灯、電源再投入で消灯
9	POWER	電源 LED	電源 ON 時、点灯
10	Volume	ボリューム	スピーカ出力音量調整用 (注)リアパネルの VR 使用不可
11-18	1-8	チャンネルボタン 1-8	再生時/録音時/各種設定時使用
19	STOP	ストップボタン	再生時/録音時/各種設定時使用
20	REC	録音ボタン	録音時使用
21	LINEIN-CM	ライン・スルーボタン (マイク放送ボタン)	ライン・スルーで BGM 放送したい場合、使用します。 (優先的にマイク放送モードでマイク入力できます。)
22	POWER	電源スイッチ	電源 ON/OFF



No	表示	名称	機能
1	AC IN	AC 電源コード	AC100V 電源と接続します。
2	FUSE	ヒューズホルダー	ヒューズ 2A
3	I/F RS232C	RS232C 用コネクタ	RS-232C 制御用コネクタ (D-SUB9ピン)
4		端子台	下記参照
5	MIC IN	マイク入力	マイク入力用ミニジャック
6	LINE IN	ライン入力	ライン入力用ミニジャック
7	LINE OUT	ライン出力	ライン出力用 RCAピンジャック
8	VR	ボリューム	使用不可
9	MODE2	モード 2 スイッチ	録音プロテクトチャンネル設定用
10	MODE1	モード 1 スイッチ	制御モード、タイマー、録音サンプリング周波数設定用

## 【端子台】 M3×18P

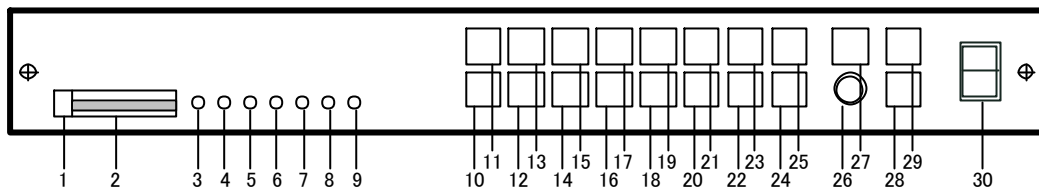


表示	名称	I/O	機能
DC IN+	DC 電源入力端子	I	DC+24V(+12V)電源を接続できます。 AC100V 電源接続不可
DC IN-	DC 電源 GND	I	DC 電源 GND
SP+	スピーカー出力+	O	5Wmax.8Ωスピーカーと接続します。
SP-	スピーカー出力 -	O	5Wmax.8Ωスピーカーと接続します。
ALM	接点端子 ALM	O	接点制御 ALM 出力 (注)電源 OFF まで出力保持します。
8	接点端子 8	I	接点制御 /SW8 (バイナリ制御 /D7)
7	接点端子 7	I	接点制御 /SW7 (バイナリ制御 /D6)
6	接点端子 6	I	接点制御 /SW6 (バイナリ制御 /D5)
5	接点端子 5	I	接点制御 /SW5 (バイナリ制御 /D4)
4	接点端子 4	I	接点制御 /SW4 (バイナリ制御 /D3)
3	接点端子 3	I	接点制御 /SW3 (バイナリ制御 /D2)
2	接点端子 2	I	接点制御 /SW2 (バイナリ制御 /D1)

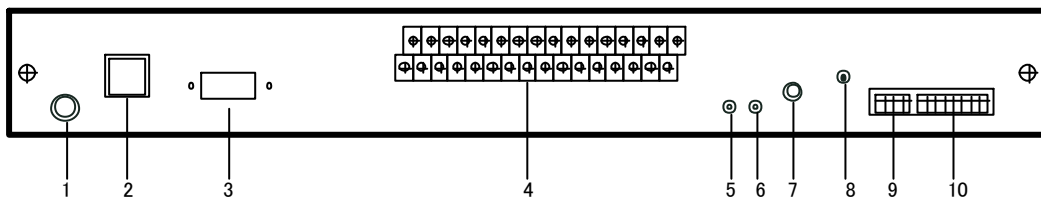
# VoiceNavi

1	接点端子 1	I	接点制御 /SW1 (バイナリ制御 /D0)
STOP	接点端子 STOP	I	接点制御 /STOP
OP	接点端子 OP	I	接点制御 /OP (バイナリ制御 /STB)
P/R	接点端子 P/R		接点制御 /REC
BUSY	接点端子 BUSY	O	接点制御 /BUSY
COM	接点端子 COM		接点制御 COM

## 【WRX7800II】

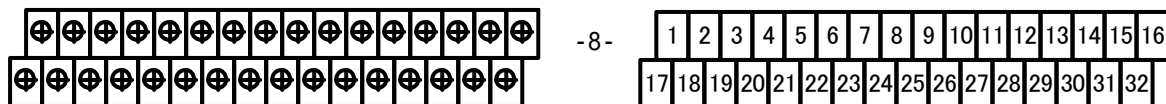


No	表示	名称	機能
1	EJECT	エジェクトボタン	CF カード排出用プッシュボタン
2	Flash Card	カードコネクタ	CF (コンパクトフラッシュ)カード用コネクタ
3	CD	カードイン LED	CF カードがコネクタ IN 時、点灯
4	PLAY	再生中 LED	再生中点灯 並びに各種エラー表示
5	REC	録音中 LED	録音中点灯
6	ER	エラー LED	初期化処理/オールクリア等各種処理時点灯
7	LEVEL	入力レベル LED	マイク入力のレベルオーバー時に点灯
8	ALM	アラーム LED	ノイズ等で CPU が暴走した場合に点灯、電源再投入で消灯
9	POWER	電源 LED	電源 ON 時、点灯
10-25	1-16	チャンネルボタン 1-16	再生時/録音時/各種設定時使用
26	Volume	音量ボリューム	スピーカ出力音量調整用 (注)リアパネルの VR 使用不可
27	STOP	ストップボタン	再生時/録音時/各種設定時使用
28	MIC-CM	マイク放送ボタン (ライン・スルーボタン)	優先的にマイク放送モードでマイク入力できます。 (ライン・スルーで BGM 放送したい場合、使用します。)
29	REC	録音ボタン	録音時使用
30	POWER	電源スイッチ	電源ON /OFF



No	表示	名称	機能
1	AC IN	AC 電源コード	AC100V 電源と接続します。
2	FUSE	ヒューズホルダー	ヒューズ 2A
3	I/F RS232C	RS232C 用コネクタ	RS-232C 制御用コネクタ (D-SUB9ピン)
4		端子台	下記参照
5	MIC IN	マイク入力	マイク入力用ミニジャック
6	LINE IN	ライン入力	ライン入力用ミニジャック
7	LINE OUT	ライン出力	ライン出力用 RCAピンジャック
8	VR	ボリューム	スピーカ出力用音量調整
9	MODE2	モード 2 スイッチ	タイマー設定用
10	MODE1	モード 1 スイッチ	制御モード、タイマー、録音サンプリング周波数設定用

## 【端子台】 M3 × 32P





# VoiceNavi

No	表示	名称	I/O	機能
1	COM	接点端子 COM		接点制御 COM
2	1	接点端子 1	I	接点制御 /SW1(バイナリ制御 /D0)
3	2	接点端子 2	I	接点制御 /SW2(バイナリ制御 /D1)
4	3	接点端子 3	I	接点制御 /SW3(バイナリ制御 /D2)
5	4	接点端子 4	I	接点制御 /SW4(バイナリ制御 /D3)
6	5	接点端子 5	I	接点制御 /SW5(バイナリ制御 /D4)
7	6	接点端子 6	I	接点制御 /SW6(バイナリ制御 /D5)
8	7	接点端子 7	I	接点制御 /SW7(バイナリ制御 /D6)
9	8	接点端子 8	I	接点制御 /SW8(バイナリ制御 /D7)
10	STOP	接点端子 STOP	I	接点制御 /STOP
11	BUSY	接点端子 BUSY	O	接点制御 /BUSY
12	OP	接点端子 OP	I	接点制御 /OP
13	P/R	接点端子 P/R	I	接点制御 /REC
14	NC			未使用
15	SP1+	スピーカー出力+	O	5Wmax.8Ωスピーカーと接続します。
16	DC IN+	DC 電源入力端子	I	DC+24V(+12V)電源を接続できます。 AC100V 電源接続不可
17	COM	接点端子 COM		接点制御 COM
18	9	接点端子 9	I	接点制御 /SW9
19	10	接点端子 10	I	接点制御 /SW10
20	11	接点端子 11	I	接点制御 /SW11
21	12	接点端子 12	I	接点制御 /SW12
22	13	接点端子 13	I	接点制御 /SW13
23	14	接点端子 14	I	接点制御 /SW14
24	15	接点端子 15	I	接点制御 /SW15
25	16	接点端子 16	I	接点制御 /SW16
26	ALM	接点端子 ALM	O	接点制御 ALM 出力 (注)電源 OFF まで出力保持します。
27	COM	接点端子 COM		接点制御 COM
28	COM	接点端子 COM		接点制御 COM
29	COM	接点端子 COM		接点制御 COM
30	NC			未使用
31	SP1-	スピーカー出力 -	O	5Wmax.8Ωスピーカーと接続します。
32	DC IN-	DC 電源 GND	I	DC 電源 GND

## 【フロントパネルのLED 表示器】

【LED 表示】

CD PLAY REC ER LEVEL ALM POWER



LED1	CARD	CF カードがコネクタに装着されると点灯、排出されると消灯
LED2	PLAY	再生中点灯 & エラー表示 (エラー対策シート参照)
LED3	REC	録音中点灯
LED4	ERR	初期化処理/オールクリア等各種処理時点灯
LED5	LEVEL	マイク入力のレベルオーバー時に点灯
LED6	ALM	ボードに CPU 異常が生じた時 (制御不能) に点灯、電源再投入で消灯
LED7	POWER	電源(DC 電圧)投入にて点灯

# VoiceNavi

## 【LED動作表】

LED	点 滅	点 灯	消 灯
CD		CF カード IN	CF カード OUT
PLAY		再生中	再生終了
	CFカード内に xxx.wpj ファイルが存在しない時		電源オフ
	再生起動を行なった CHにファイルが存在しない時		1.ファイル が存在する、別なCHが起動された時 2.「STOP」入力
REC		録音中	録音終了
	録音中に CF カード内の残メモリ容量が 2MB になった時		1.録音終了(残メモリ容量ゼロ) 2.「STOP」入力
ERR	初期化処理の開始～終了		初期化終了
	オールクリア終了後 5 秒間		
	録音中に不良セクタの発生時		「STOP」入力
	CF カードのフォーマットが未対応時		電源オフ
		条件不成立時に「初期化」「オールクリア」「録音」の各処理を行なった時	「STOP」入力
LEVEL		入力信号(LIN or マイク)が最大の約 70%を超えた時	
ALM		CPU 異常が生じた時(制御不能) (注) 自動復旧機能で復旧した場合でも点灯しています。	電源オフでクリア
POWER		電源 ON	電源 OFF

## 9.設定 モードスイッチ1 (再生モード・タイマー時間 全プロテクトSW・サンプリングモード)



名称	bit-No.	設定項目	設定内容
MODE1	1-3	再生モード	再生モードの設定
	4-5	タイマー時間 A	インターバルタイマー時間の設定 0/20/30/45 分 適用再生モード : 通常再生モード (注)0/1/2/・ /14/15 分は MODE2(4P)で設定します。
	6	全プロテクトスイッチ設定	CF カード内の録音 /フォーマット防止
	7-8	サンプリングモード	録音時の音質の設定 サンプリング周波数: 44.1KHz/22.05KHz ビット数: 16Bit/8Bit (注)再生時は、本設定は見えていません。 WAVE ファイル内のサンプリング周波数により再生します。

# VoiceNavi

## 10. 設定-再生モード (MODE1 1-3)

再生モード詳細については後記参照。 ●→ON

1	2	3	4~8	再生モード	概要	7200II	7700II	7800II	
			/	1	接点制御 -通常再生モード	ほとんどの全用途で使用できます インターバルタイマーが設定できません	○ 4CH	○ 8CH	○ 16CH
				接点制御 -通常再生モード (ライン・スルー機能)	【MIC または LINEIN-CM ボタン ON 時】 ライン入力をスルーで出力します。	○ 4CH	○ 8CH	○ 16CH	
●				2	接点制御 -後入力切替再生モード	設備の操作説明・音響演出	○ 4CH	○ 8CH	○ 16CH
	●			3	接点制御 -優先順位再生モード	優先度の高い CH に即切り替え再生 CH16/8/4<< CH1	○ 4CH	○ 8CH	○ 16CH
●	●			4	接点制御 -順番再生モード (カウント)	1 点出力タイマー装置による定時放送、音響演出・作業マニュアル案内装置	○ 16CH (4CH)	○ 8CH (4CH)	○ 16CH
		●		5	接点制御 -MIC 放送モード	【MIC または LINEIN-CM ボタン ON 時】 カード放送時、割り込みで内蔵の5W アンプでマイク放送ができます。	○ 4CH	○ 8CH (4CH)	○ 16CH
●		●		6	空き				
	●	●		7	RS-232C 制御 (再生専用)	255CH 再生専用 (注) 録音は接点制御モード(通常)時可	×	○ 255 CH	○ 255 CH
●	●	●	8	バイナリ制御 (再生専用)	255CH 再生専用 (注) 録音は接点制御モード(通常)時可	×	○ 255 CH	○ 255 CH	

## 11. 設定-インターバルタイマー (MODE1 4-5 または MODE2 1-4) (適用再生モード-通常再生モード)

再生終了後に上記モードスイッチにて設定されたタイマー時間が作動します。

タイマー作動中は、SW 入力を検知しません。タイマー作動終了後、SW 入力を検知状態になります。

BUSY 出力は作動中 ON 出力します。(再生時間+タイマー時間)

**【適用再生モード】 接点制御 通常再生モード (注)他の再生モードでは使用できません。**

### MODE1 (8P DIP SW-No.4/5)

1	2	3	4	5	6	7	8	タイマー時間
								1 0 秒
			●					2 インターバルタイマー 20 分
				●				3 インターバルタイマー 30 分
			●	●				4 インターバルタイマー 45 分

(注)1~15 秒間を使用する場合、MODE1 は 0 秒に設定します。

### MODE2 (4P DIP SW) (注) MODE1 の設定時間が優先されます。

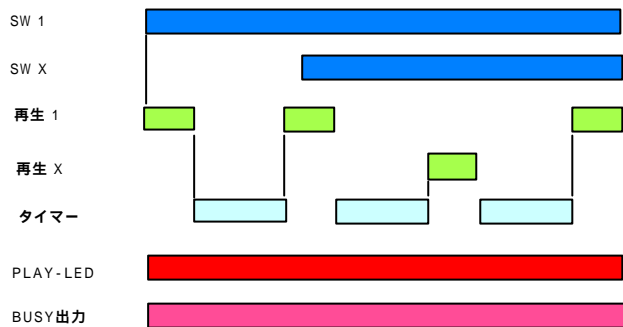
1	2	3	4	タイマー時間
			1	0 分
●			2	1 分
	●		3	2 分
●	●		4	3 分

# VoiceNavi

		●		5	4分
●		●		6	5分
	●	●		7	6分
●	●	●		8	7分
			●	9	8分
●			●	10	9分
	●		●	11	10分
●	●		●	12	11分
		●	●	13	12分
●		●	●	14	13分
	●	●	●	15	14分
●	●	●	●	16	15分

(注)1~15秒間の設定する場合、MODE1-4/5はOFF(0秒)にして下さい

店頭CM/POP時、インターバルタイマーによる再生ができます。



適用再生モード：通常再生モード

タイマー時間：

0/1/2/3/4/・ /14/15分・MODE2スイッチ

0/20/30/45分・MODE1スイッチ

再生終了後に上記モードスイッチにて設定されたタイマー時間が作動します。

注タイマー作動中は、SW入力を検知しません。

タイマー作動終了後、SW入力を検知状態になります。

BUSY出力は作動中ON出力します。(再生時間+タイマー時間)

## 12.設定 全プロテクトスイッチ (録音・初期化処理・オールクリア処理の禁止) (MODE1 6)

本スイッチがONの場合は録音・初期化やオールクリア処理ができません。

1~5	6	7~8	/	プロテクト
			1	プロテクト無し
	●		2	プロテクト有効

●->ON

(注) 登録エディタソフトVoiceNavi Editorで下記のファイル名以外のWAVEファイルを使用した場合も再録音、初期化処理などできません。

[WRXシリーズ録音時のファイル名] WRX001.wav ~ WRX\*\*\*.wav

## 13.設定-録音時のサンプリングモード(音質)

1~6	7	8	/	サンプリングモード	内容	備考
			1	44.1KHz 16Bit mono	高音質 CD同等サンプリング	推奨
	●		2	22.05KHz 16Bit mono	中音質	推奨
		●	3	44.1KHz 8Bit mono	中音質 WAV シリーズ互換	
	●	●	4	22.05KHz 8Bit mono	中音質 WAV シリーズ互換	

●->ON

(注) 再生時は本スイッチは見えていません。

再生時はWAVEファイルのサンプリングモードで再生します。

音質自体は、回路、使用電源等の性能により大きく依存します。

上記はあくまでもサンプリングの内容を記載しています

## 14. マイク・ライン入力

WRX720DI / 770DI / 780DI の場合、マイクまたはライン入力での録音できます。

	コネクタ	適合インピーダンス	入力感度	備考欄
MI N	リアパネル ミニプラグ	600Ω	約-65dBm (調整可)	LEVEL LED 点灯 入力レベル 70%以上
LINE IN	リアパネル ミニプラグ	10KΩ	約-15dBm (調整可)	

### 【マイク入力録音上の注意】

デジタル録音の CM/アナウンスマシンですが、マイク入力 / ライン入力はアナログ回路です。  
下記の事項に注意しながら録音して下さい。

録音環境	静音環境にして下さい。(特に、エアコン)
マイク	吐息対策のため、ウインドブレーカー (プレスブレーカー) がついているマイクを推奨。 マイクを一定距離に置いて、録音して下さい。
アナウンス	レベルオーバーしないように、マイクを一定距離、安定した声量で録音して下さい。 デジタル録音ですので、何回でも再録音できます。
サンプリングモード	周囲環境がうるさい・静音環境下でない場合(マイク放送など) 44.1KHz 16Bit(または 22.05KHz 16Bit)で録音またはマイク放送して下さい。

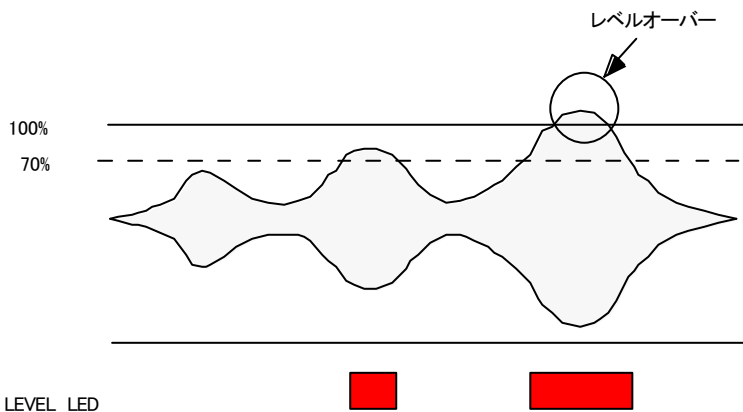
### 【フロントパネルの LEVEL LED 表示】

マイク入力が、70%を超えた場合、点灯します。

マイク入力回路には AGC 回路がありませんので、レベルオーバー (100%) しないように録音して下さい。  
レベルオーバーの場合、オーバーした部分がビットノイズになります。

マイク入力レベル 70%未満	マイク入力レベル 70%以上
	

### 【マイク入力のレベルオーバー】



LEVEL LED

マイク入力が、70%を超えた場合、点灯します。

WRX シリーズのマイク入力回路には AGC 回路がありません。

レベルオーバー (100%) しないように録音して下さい。  
レベルオーバーの場合、オーバーした部分がビットノイズになります。

### 【入力レベルを調整したい場合】

本体の上カバーをはずし、ボード上の半固定ボリュームを調整して下さい。

	調整箇所	調整範囲	工場出荷時
マイク入力	ボード上半固定 VR1	約 4~13dB	約 8dB
ライン入力	ボード上半固定 VR2	約 ?9~0dB	約 ?5dB

## 15. スピーカー出力・ライン出力

WRX7200/7700 の場合、スピーカー出力とライン出力の 2 系統同時出力します。

名称	ジャック・端子台	出力
スピーカー出力	リアパネル 端子台 SP+ SP-	5Wmax. 8Ω (注)WRX7700 DC 電源時 +24V 時 5W max. +12V 時 1.5Wmax.
ライン出力	リアパネル ピンジャック	600Ω 不平衡 約 0dB

【出力レベルを調整したい場合】

	調整箇所	調整範囲	工場出荷時
スピーカー出力	リアパネル シャフト式可変ボリューム	約 0~5W	VR 位置「中」
ライン出力	本体内部ボード上半固定 VR3	約 10~8dB	約 0dB

(注)ライン出力は本体の上カバーをはずし、ボード上の半固定ボリュームを調整して下さい。

## 16. 適用 CF カード (コンパクトフラッシュ)

下記の CF カードがご使用できます。下記以外のメモ리카ードは動作保証外になります。

カード容量	バッファロー	IO データ	
32MB	RCF-X32MY	CFS-32MA	CFS-32MA
64MB	RCF-X64MY	CFS-64MA	CFS-64MA
128MB	RCF-X128MY	CFS-128MA	CFS-128MA
256MB	RCF-X256MY	CFS-256MA	CFS-256MA

(注)IO データ CFS-\*\*M(HI)シリーズ可

【CF カード取扱い上ご注意】

CF カードの脱着	必ず、電源 OFF 状態でカードの脱着を行って下さい 再生 / 録音中に行くと、カード内部が破損します。
指定メーカー・型式以外の CF カード	指定メーカー・型式以外のカードは動作保証外になります。 CF カードの場合、スマートメディア・SD カードと異なり、完全な統一品ではありません。 これは主にカード内のカードコントロール LSI に起因しています。 CF カードの大量購入する場合、必ず、動作確認の上、ご購入下さい。
カードのフォーマット (初期化)	新規購入の CF カードはフォーマット済みのためそのままご使用できます。 【フォーマット】 Windows パソコンで「フォーマット」処理をします。
デジカメで使用した CF カード	そのままでは使用できません。 【フォーマット】 Windows パソコンで「フォーマット」処理をします。
録音時、音飛びする場合	録音時の「音飛び」防止のために、下記の処理を行って下さい。 【フォーマット】 Windows パソコンで「フォーマット」処理をします。

## 17. 設置 収納

スタブアロン (据置) の場合はそのまま設置できます。

EIA ラックに収納する場合、盤などに固定する場合は補助金具等を利用して収納または固定して下さい。

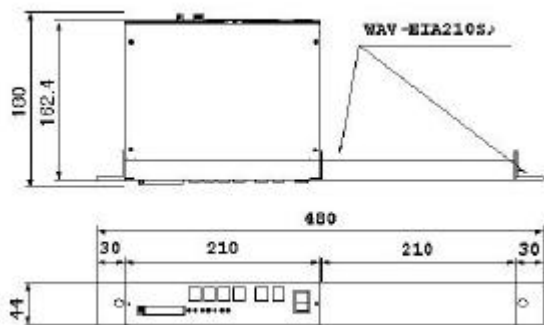
使用環境	使用時: -5°C ~ 55°C 35% ~ 80%RH 保存時: 10°C ~ 70°C (但し結露なき事) 水、湿気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないで下さい
耐振動	WRX720DI / 770DI / 780DI は FA 仕様ではありません。 振動の多い環境に設置する場合、振動対策を行って下さい。
耐ノイズ	WRX720DI / 770DI / 780DI は FA 仕様ではありません。 ノイズが多い環境の場合、シールドを含むノイズ対策を行って下さい。 特にスピーカライン、マイク・ラインなどの入力ラインはノイズが乗り易いのでご注意下さい。

# VoiceNavi

## 【EIA ラックに収納する場合】

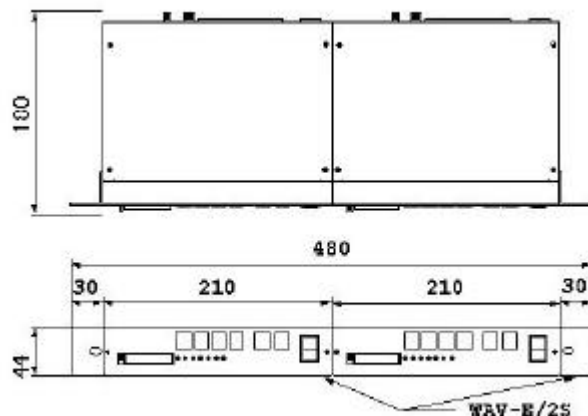
### ■WRX7200II 1 台の場合

補助金具 WAV-EIA210S または相当品



### ■WRX7200II 2 台の場合

補助金具 WAV-E/2S または相当品



### ■WRX7700II(7800II) 1 台の場合

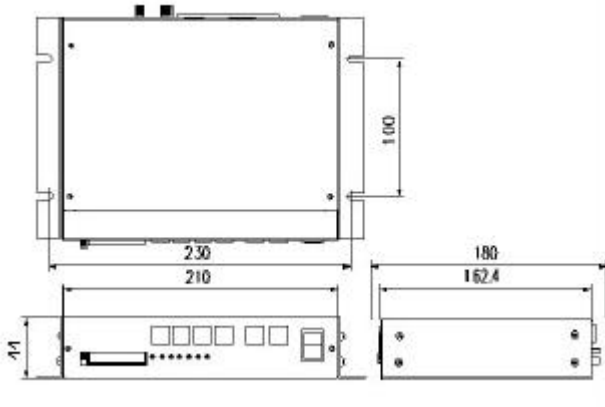
補助金具 WAV-L44 または相当品



## 【固定する場合】

### ■WRX7200II

WAV-LKANAGU または相当品



振動の多い場所では、ゴムなど緩衝材を入れ、振動対策を行って下さい。

## 18 .接続 配線

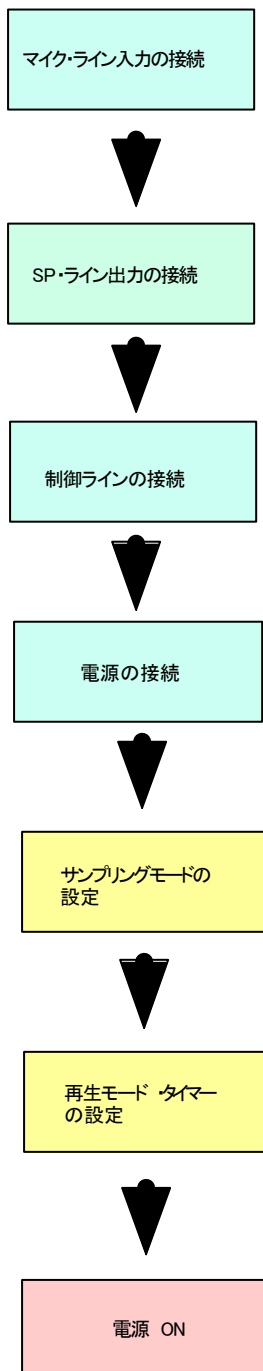
### 【接続上のご注意】

配線	スピーカー配線	5m 以上、または周囲にノイズ源がある場合はシールド線をご使用ください。なお、屋外配線の場合、雷等で帯電し、破損する可能性があります。複数スピーカー使用の場合や屋外配線の場合、ハイインピーダンスアンプ・スピーカーで行って下さい。
	LINE OUT 配線	必ず、シールド線をご使用ください

# VoiceNavi

	制御関係の配線	1m 以上、または周囲にノイズ源がある場合はシールド線をご使用 ください
電源	低ノイズ	ノイズの少ない、安定した電源をご使用下さい
	雷サージ	AC100V 電源と本機の電源間に雷サージ対策コネクタ等で対策を行って下さい。
	DC 電源	WRX7700II / 7800II で DC 電源を使用する場合 1.AC100V 電源は使用できません。(配線しないで下さい ) 2. DC 電源には+の極性がありますのご注意下さい。 3. 電圧変動が激しい電源や、ノイズ・サージを多く含む電源は使用しないで下さい。
ノイズ対策		<p><b>本機は &lt;FA 仕様&gt; ではありません。</b>  <b>原則としてノイズ環境下ではご使用できません。</b>  <b>ノイズがある場合、誤動作を生じる場合があります。</b>          (ノイズ対策を行う場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本機を金属ケースまたはシールド板等でケーシングします。</li> <li>・スピーカー ・ライン出力ライン (注)ノイズが乗り易い</li> <li>・MIC/LINE 入力ライン ・制御ライン ・電源ライン</li> </ul>

本書記載の「各部の名称・機能」設定欄等を参照し、接続して下さい。



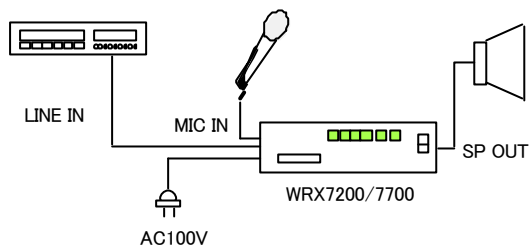
本書記載の「各部の名称・機能」を参照し、接続して下さい。

No.	設定項目	内容
1	音声入力ラインの接続	MIC IN にマイクや LINE IN に MD デッキなどを接続します。
2	音声出力ラインの接続	ライン出力の PIN ジャックと外部アンプ・通信機器の LINE IN を市販の PIN ジャックケーブル等で接続します。必要に応じて、定格 0.5W スピーカーを接続します。
3	制御ラインの接続	PLAY/REC 、 STOP 、 SW1-8 BUSY COM などを接続します。
4	電源の接続	AC100V 電源に接続します。WRX7700II/7800II の場合、DC+24V(DC+12V) 電源と接続できます。この場合、AC100V 電源とは接続しないで下さい。
5	サンプリングモードの設定	MODE1 スイッチで、サンプリングモードを設定します。 (出荷時) 44.1KHz 16Bit Mono
6	再生モード・タイマーの設定	MODE1 スイッチで、再生モード・タイマー 時間をセットします。 (出荷時) 通常再生モード タイマー 0 秒
7	Flash カード「コンパクトフラッシュ」のセット	コンパクトフラッシュはメーカー・型式指定
8	電源 ON	POWER(LED1), CARD(LED2) が点灯



# VoiceNavi

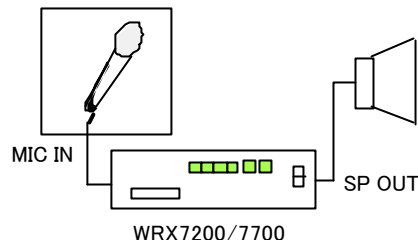
## 【録音操作の場合】



## 【店頭 CM/POP の場合】

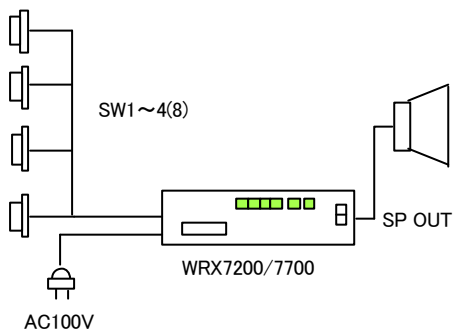
再生モード：通常再生モード（複数 CH 対応）  
 インターバルタイマー： 0/1～15 分/20/30/45 分

マイク放送する場合  
 録音する場合



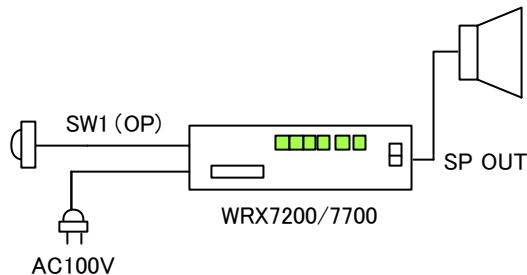
## 【外部押しボタン操作の場合】

再生モード：通常再生モード（複数 CH 対応）  
 または後入力切替再生モード  
 または優先順位再生モード



## 【人体検知センサー起動の場合】

再生モード：通常再生モード  
 または優先順位再生モード  
 または順番再生モード



(テクニク )

通常再生モードの場合

録音データの後に無音時間を入れて録音します。

優先順位再生モードの場合

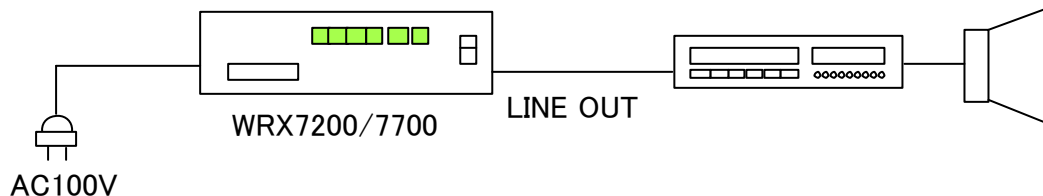
CH2 に BGM、CH1 にナレーション

順番再生モードの場合 (OP 端子接続)

CH1-3 にナレーション、 CH4 を無音 10-30 秒録音

## 【拡声アンプと接続する場合】

再生モード：通常再生モード（複数 CH 対応）  
 または後入力切替再生モード  
 または優先順位再生モード

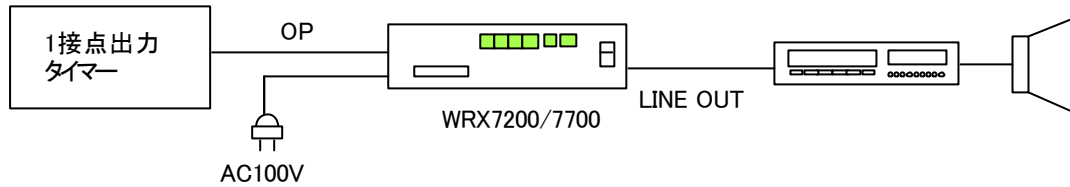


## 【1 接点出カタイマーと接続する場合】

接続端子：OP/COM

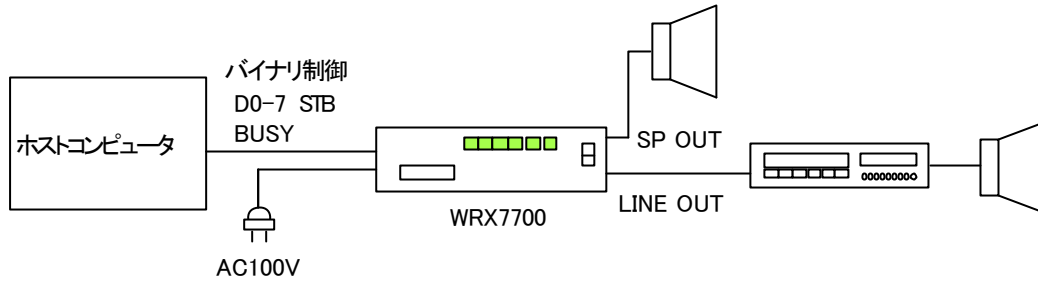
再生モード：順番再生モード

# VoiceNavi



## 【255CH—バイナリ制御再生の場合】

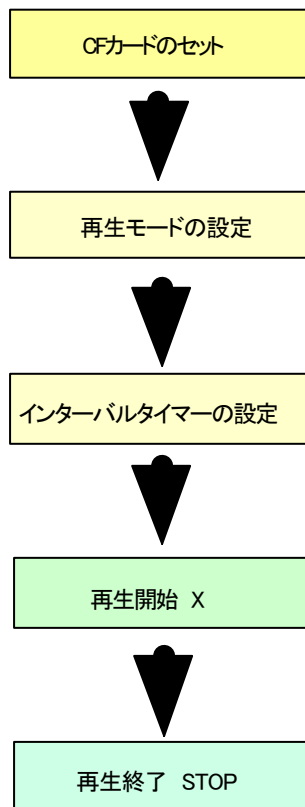
再生モード：バイナリ制御モード



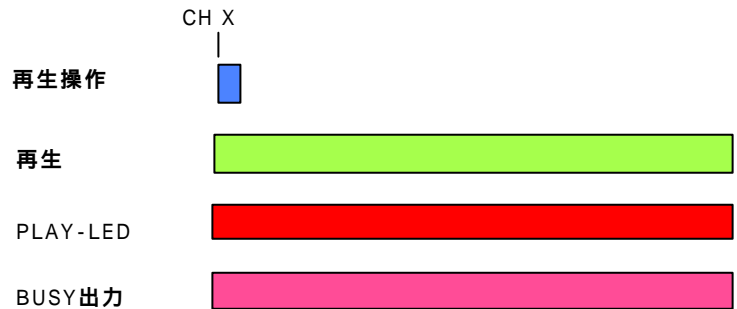
## 19. 操作 再生制御 (個別 CH 再生 全 CH 再生)

WRX7200II/7700II/7800II シリーズではフロントパネルの押しボタン操作による再生とリアパネルによる接点制御 (WRX7700II/7800II の場合は 255CH-RS232C/バイナリ制御 )による再生制御ができます。



### 【個別チャンネル再生したい場合】



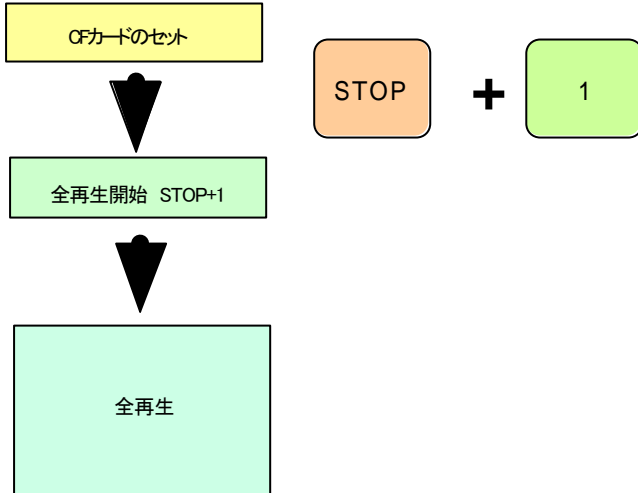
接点制御—通常再生モード、インターバルタイマー 0 秒の場合  
再生モード、インターバルタイマーにより再生制御内容は異なります。



# VoiceNavi

再生スタート		再生スタート後、1-4(8/16)ボタンを OFF 状態にしてください。(プッシュロック式のため) ON 状態の場合、再生モードの制御内容によります。
再生終了		
途中再生終了		再生途中で終了したい場合は、STOP ボタン ON

## 【全チャンネル再生したい場合】



再生スタート後、1-4(8/16)ボタンを OFF 状態にしてください。(プッシュロック式のため)

ON 状態の場合、再生モードの制御内容によります。

再生途中で終了したい場合は、STOP ボタン ON

## 20 .操作 再生モードの説明 1 (再生モードと使用用途)


	再生モード		MODE1 スイッチ			
			1	2	3	4~8
1 接点制御	通常再生モード					
	通常再生モード (ライン・スルー機能)					
	2	後入力切替再生モード	●			
	3	優先順位再生モード		●		
	4	順番再生モード (カウント)	●	●		
5	マイク放送モード				●	
6	予備		●		●	
7	RS-232C 制御 (再生専用) WRX7700II/7800II 用			●	●	
8	バイナリ制御 (再生専用) WRX7700II/7800II 用		●	●	●	

使用用途	適用再生モード	コメント
案内・注意放送マシン	通常再生モード	インターバルタイマー有効

# VoiceNavi

案内・注意放送マシン (マイク放送したい場合)	マイク放送モード	インターバルタイマー有効 マイク放送ボタン ON で割込み放送
店頭・コーナー CM マシン	通常再生モード	インターバルタイマー有効
店頭・コーナー CM マシン (マイク放送したい場合)	マイク放送モード	インターバルタイマー有効 マイク放送ボタン ON で割込み放送
施設・観光案内板の音源	通常再生モード 後入力切替再生モード	ナレーション全て聞かせる場合、通常再生モード。 押しボタン操作に連動は
音声案内/説明・音響演出	通常再生モード 後入力切替再生モード 優先順位再生モード	
人体検知センサー等接続した説明装置	通常再生モード 順番再生モード	通常再生モード+インターバルタイマー 15秒～1分が一般的。 複数CHを録音(登録)し、順番再生モードで再生すると前後の人は同一のアナウンスを聞かない。 (例)CH1-CM1 CH2-CM2 CH3-CM3 CH4-無音 30秒 (各CMの後ろ無音 15秒)
人体検知センサー等接続した来客案内	通常再生モード	
定時・随時放送の音源	通常再生モード	
店内放送のCM用音源 (外部BGM機器使用の場合)	通常再生モード (ライン・スルー機能)	
タイマー(1点出力)による定時放送の音源	順番再生モード	
地震等の 連絡・避難放送システムの音源	優先順位再生モード	
電動紙芝居	順番再生モード 通常再生モード	
電車接近放送の音源(小型/無人駅)	通常再生モード	
電車接近放送の音源(中型駅)	RS-232C制御 バイナリ制御	
工場/プラントの 監視・制御システムの音源	RS-232C制御 バイナリ制御	
パーラーTV監視システムの音源 無線インターカムの音源	RS-232C制御 バイナリ制御	
.		

## 22. 操作 再生モードの説明2 (接点制御)

	再生モード	コメント	MODE1 スイッチ			
			1	2	3	4~8
1	通常再生モード	タイマー有効				
	通常再生モード(ライン・スルー機能)	LINE-CM ボタン ON タイマー有効				
2	後入力切替再生モード		●			
3	優先順位再生モード			●		
4	順番再生モード(カウント)	OP 端子入力	●	●		
5	-マイク放送モード	MIC ボタン ON でマイク入力します タイマー有効			●	

### 1. 接点制御 通常再生モード

(インターバルタイマー有効)

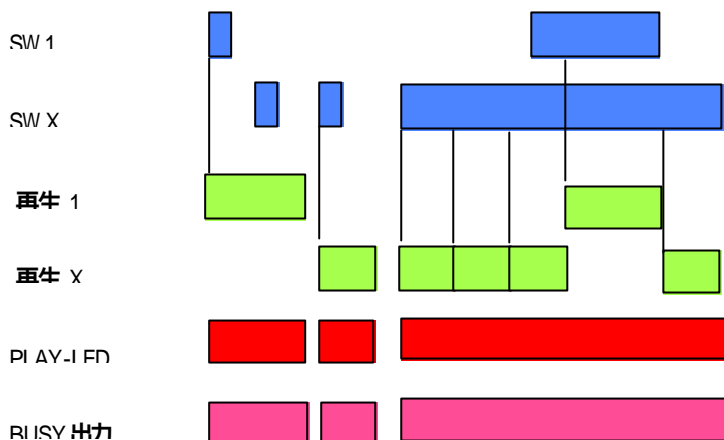
# VoiceNavi

●ワンパルス入力時

- ① 再生は一回のみ再生で、再生中は他の入力は見ません。
- ② 再生終了後に次のSW入力からスキャンを行います。
- ③ ストップ信号入力により、即停止します。

●レベル入力時

- ① レベル入力の場合はリピート再生で、再生中は他の入力は見ません。
- ② 再生終了後に次のSW入力からスキャンを行います。
- ③ ストップ信号入力にて即停止し、引き続き入力がある時は、ストップ解除後に最初から再生します。

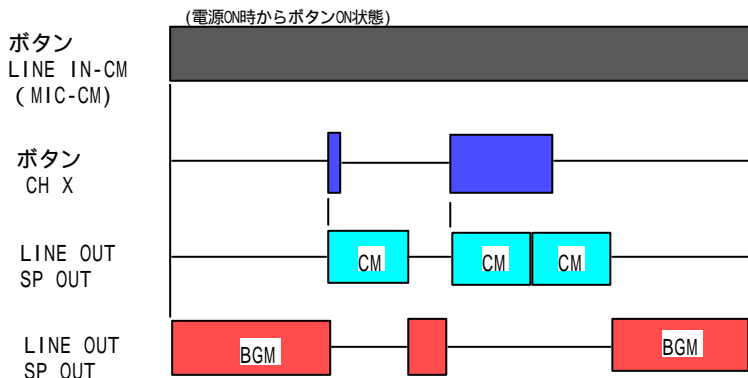


## ライン・スルー機能を使用する場合

有線放送機器やBGM機器からのライン入力をスルーでライン出力します。  
チャンネルボタン、端子台制御によるCM放送時は、ライン・スルー機能は停止します。

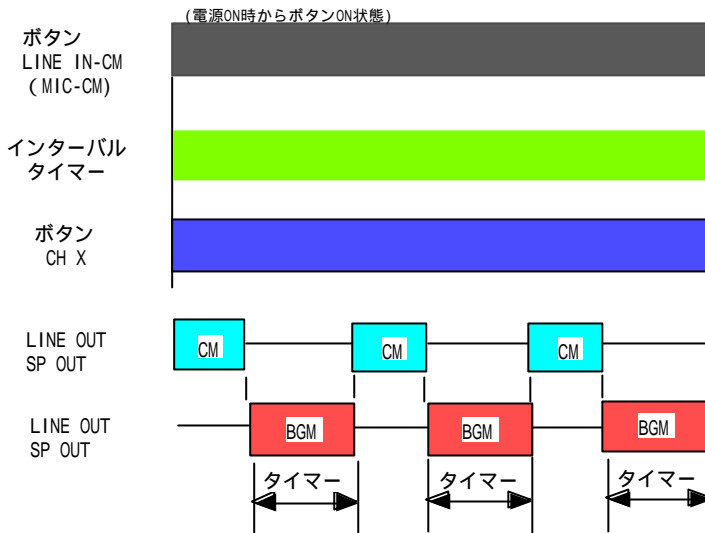
本モードを使用する場合	本モードは下記設定時、有効になります。 1.通常再生モード 2.電源ON時、LINE IN-CM(MIC-CM)ボタン ON(プッシュロック)
-------------	---

## 【ライン・スルー機能でBGM放送中、CHボタン・外部端子制御でCM放送する場合】



## 【ライン・スルー機能でBGM放送中、CHボタン・インターバルタイマーでCMリピート放送する場合】

# VoiceNavi

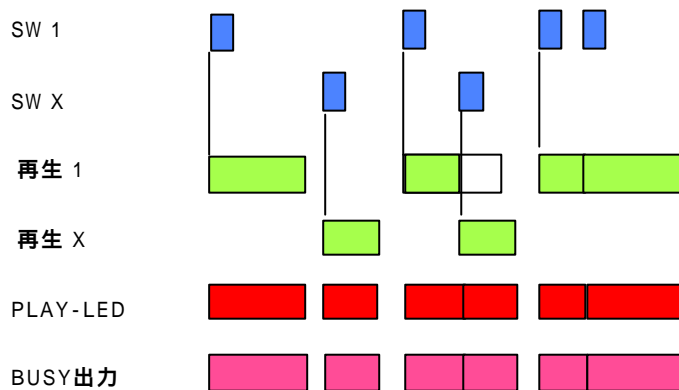


タイマー併用時は、タイマーが動作中の時は Mic/Line からの入力信号を出力します。

## 2.接点制御 後入力切替再生モード (インターバルタイマー無効)

再生はワンショット 入力のための1回再生になります。

再生中は、当該 SW を含む全ての SW を検出し、入力されると即座に入力された SW のメッセージ に切り替わります。ストップ信号入力で即停止します。



## 3.接点制御 優先順位再生モード (インターバルタイマー無効)

用途: BGM を優先順位の低い CH に割り付け、本スイッチ ON でエンドレス再生します。

優先順位の上位の端子への入力で、「割り込み再生」します。

有線放送や外部に BGM 装置がない場合、この機能で CM&BGM マシンになります。

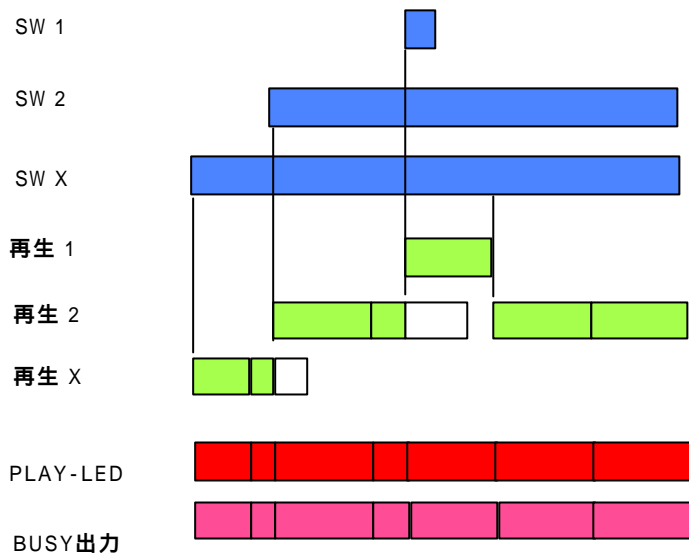
BGM は野鳥の鳴き声や川のせせらぎなどの環境音を推奨。

再生はワンショット 入力時は1回だけの再生になり、レベル入力時はリピート再生になります。

再生中は、当該SWより優先度の高いSWのみ検出し、入力されると即座に入力されたSWのメッセージに切り替わります。また、リピート再生時では、優先度の高いSWのメッセージ終了後に、再度当該SWのメッセージが、最初から再生されます。

ストップ信号入力で即停止し、リピート再生時ではストップ解除後に、再度当該SWのメッセージが最初から再生されます。

# VoiceNavi

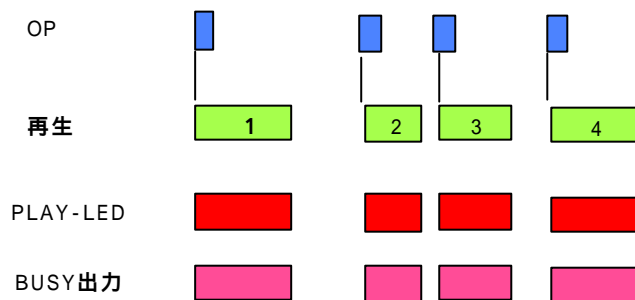


## 4.接点制御 順番再生モード (インターバルタイマー無効)

順番再生で再生できるチャンネル数は 16Chmax です

OP信号の入力により、最初から順番に再生し、最後のチャンネルまで再生すると、再び最初から再生します。再生中は他の入力は見ません。

ストップ信号入力で即停止し、次のOP信号の入力より最初のチャンネルから再生します。



## 5.接点制御 マイク放送モード (インターバルタイマー有効)

本モードを使用しますと、MIC-CM(LINE IN-CM)ボタン ON中、優先的にマイク放送できます。

### 【マイク入力のレベルオーバーについて】

マイク・入力回路には AGC 回路がありませんので、レベルオーバー (100%)しないようにマイク入力して下さい。

フロントパネルの入力レベル LED 表示は入力レベルが 70%超えた場合、点灯します。

### 【マイク放送上の注意】

#### 【フロントパネルの LEVEL LED 表示】

マイク入力が、70%を超えた場合、点灯します。

マイク入力回路には AGC 回路がありませんので、レベルオーバー (100%)しないように録音して下さい。レベルオーバーの場合、オーバーした部分がビットノイズになります。

マイク入力レベル 70%未満	マイク入力レベル 70%以上
	

### 【ハウリングが生じた場合】

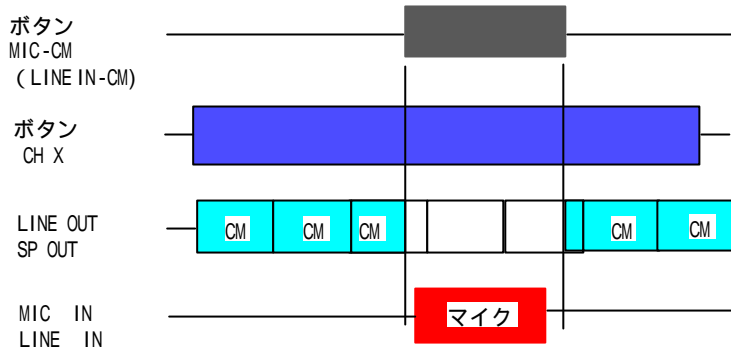
スピーカーを離して入力して下さい。

# VoiceNavi

本モードを使用する場合	本モードは下記設定時、有効になります。 1.マイク放送モード 2.マイク放送したい場合、MIC-CM(LINE IN-CM)ボタン ON (ON 中、マイク放送できます)
-------------	--

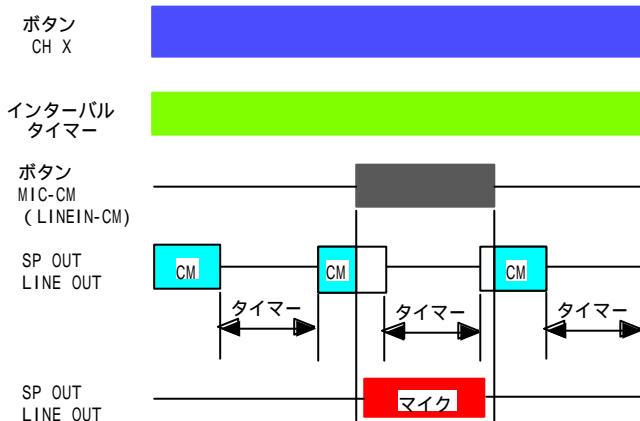
## 【CH ボタンによる CM リピート再生時 (インターバルタイマーの未使用)】

CH ボタン ON による CM のリピート再生中でも、本ボタン ON 中は CM 放送を停止し、マイク (ライン) 入力を優先して放送します。



MIC-CM (LINE IN-CM) ボタン ON 中、マイク放送できます。  
マイク放送中は CM 放送は再生を停止します。

## 【CH ボタン インターバルタイマーによる CM リピート再生時】



MIC-CM (LINE IN-CM) ボタン ON 中、マイク放送できます。  
マイク放送中は CM 放送は再生を停止します。

マイク入力のレベルオーバーについて	マイク・入力回路には AGC 回路がありませんので、レベルオーバー (100%) じまいようにマイク入力して下さい。 フロントパネルの入力レベル LED 表示は入力レベルが 70% 超えた場合、点灯します。
ハウリングが生じた場合	スピーカーを離して入力して下さい

## 23 .操作 再生モードの説明 3 (バイナリ制御)

	再生モード	使用用途	MODE1 スイッチ			
			1	2	3	4~8
8	バイナリ制御 (再生専用)	WRX7700II/WRX7800II 用 255CHmax. <再生中>受信バッファ 20max,	●	●	●	

再生チャンネルは 1CH(FEH) から 255CH( 00H)までとします。

<再生中受信>バッファ 20max.

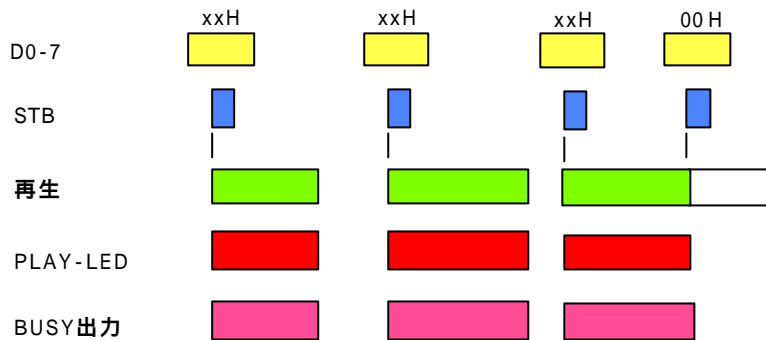
但し、STOP(0CH:FFH)のみは有効とし、再生中でも強制停止し ます。

外部 STOP 信号入力にても即停止します。

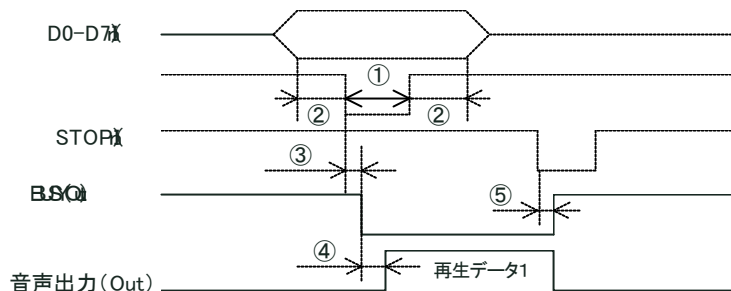
受信及び再生出力のタイミングは以下の様になります。



# VoiceNavi



No.	信号名称	時間
①	OP 入力時間	50ms min.
②	データセットアップ時間	50ms min.
③	BUSY 出力タイミング	50ms max.
④	音声出力タイミング	130ms max.
⑤	音声終了タイミング	50ms max.



## 24 .操作 再生モードの説明 4 (RS232C 制御)

	再生モード	使用用途	MODE1 スイッチ			
			1	2	3	4~8
7	RS-232C 制御 (再生専用)	WRX7700II/WRX7800II 用 255CHmax. <組立再生>バッファ 10max. <再生中受信>バッファ 20max.		●	●	

RS232C 制御の場合、組立バッファを使用することにより、1CH(フレーム)、最大 10 データまでを組立再生できます。また、受信バッファにより、最大 20CH まで再生中でも受信できます。

- ① 再生チャンネル 1CH~255CH。
- ② <組立再生>バッファ: 1フレーム 10 データ max.
- ③ <再生中受信>バッファ: 最大 20 個  
再生中でも受信を行います。  
再生順番は FIFO 形式とし古いデータより再生  
受信バッファがフル (満杯)で以降のデータは無効となり、バッファに5個の空きが生じると受信可能とします。  
外部 STOP 信号入力もしくは FFh 入力にて再生を即停止し、受信バッファを全てクリアにします。

### 通信条件

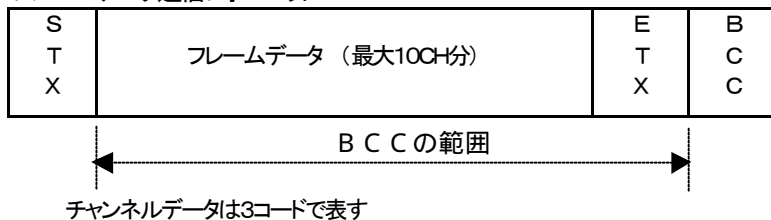
通信方式	非同期式 全2重
通信速度	9600bps
データ長	8ビット
パリティ	even
ストップ	1ビット
コード体系	ASCII

### 通信制御コマンド

コマンド	コード	定義
STX	02h	フレームデータの開始
ETX	03h	フレームデータの終了
ACK	06h	送信側に対する肯定的応答
NAK	15h	送信側に対する否定的応答
ENQ	05h	受信側に対する応答要求

他に強制停止(バッファリセット)コマンドとして「FFh」があります  
尚、強制停止については外部STOP 信号入力にて可

### ① フレームデータ送信フォーマット



# VoiceNavi

例)10Hと1250Hの表示

10 (進表示) → 0010 (進表示) → 3030310 (10進表示)

1250 (進表示) → 1250 (進表示) → 31032035 (10進表示)

BCCの範囲はフレームデータからETXまでとする

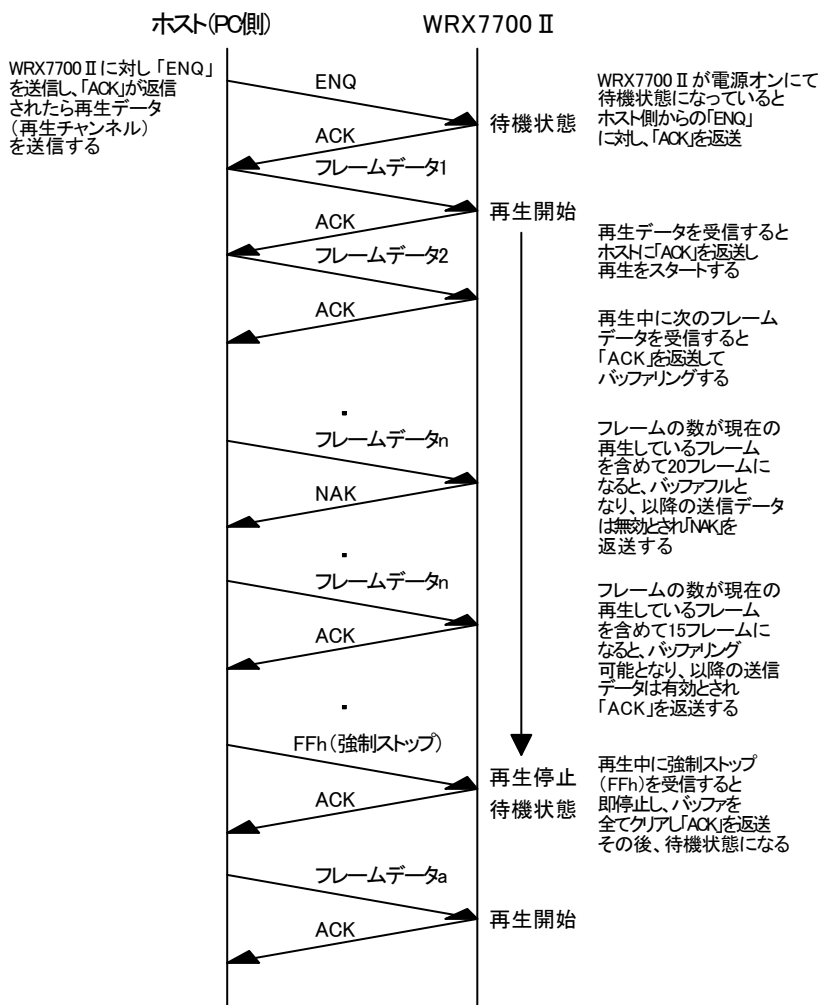
例)10Hと150Hと1250Hを送信

S T X	フレームデータ (最大10CH分)	E T X	B C C
02h	303031031031031035	03h	30h

	コード	バイナリ
10H	30h	00110000
	31h	00110001
	35h	00110101
150H	31h	00110001
	32h	00110010
	35h	00110101
1250H	31h	00110001
	32h	00110010
	35h	00110101
ETX	03h	00000011
BCC	30h	00110000

BCCの算出は、バイナリに於いて各ビットのEXORをとる

## ② 制御手順



注1. 「ENQ」を送信するのはWRX7700 が電源ONの起動時のみです。

注2. 「NAK」が返送されるのは、バッファフルの時と受信データにエラーが発生した時です。

## 25 .操作-録音

録音前に、下記事項を確認してから、録音して下さい。

### 1 .CF カード(コンパクトフラッシュ)の用意

録音可能時間を参考に CF カードの容量をお選び下さい。

CF カードが安価になってきていますので、カード容量 64MB/128MB/256MB カード、サンプリングモード 44.1KHz16Bit Mono でのご使用をお勧めします。

なお、Windows パソコン+カードアダプタで、CF カード内のデータはパソコン内にバックアップ、または他の CF カードにコピーできます。

#### 適用 CF カード

カード容量	バッファロー	IO データ機器	
32MB	RCF-X32MY	CFS-32MA	CFS-32M(HI)
64MB	RCF-X64MY	CFS-64MA	CFS-64M(HI)
128MB	RCF-X128MY	CFS-128MA	CFS-128M(HI)
256MB	RCF-X256MY	CFS-256MA	CFS-256M(HI)

必ず、指定メーカー・型式のカードをご使用下さい。(参照 23.適用メモカード)

使用できないタイプの CF カードがあります。

新規カードは Windows パソコン上でフォーマットしてからご使用下さい。

#### 録音可能時間】

No.	サンプリングモード	録音時間 max.			
		32MB	64MB	128MB	256MB
1	44.1KHz 16Bit Mono	5.6 分	11.2 分	22.4 分	44.8 分
2	22.05KHz 16Bit Mono	11.2 分	22.4 分	44.8 分	89.6 分
3	44.1KHz 8Bit Mono	11.2 分	22.4 分	44.8 分	179.2 分
4	22.05KHz 8Bit Mono	22.4 分	44.8 分	89.6 分	358.4 分

### 2 .録音時のサンプリングモードの設定

【サンプリングモードの設定】 MODE1 No.6-8 で設定 ●→ON

1~6	7	8	サンプリングモード	内容
			1 44.1KHz 16Bit mono	高音質 CD 同等サンプリング
	●		2 22.05KHz 16Bit mono	中音質
		●	3 44.1KHz 8Bit mono	中音質 WAV シリーズ互換
	●	●	4 22.05KHz 8Bit mono	中音質 WAV シリーズ互換

### 3 .プロテクトの解除

下記のプロテクトスイッチを解除状態( OFF) にして下さい。

名称	SW	Bit-No.	設定項目	設定内容
全プロテクトスイッチ	MODE1	6	録音・オールクリア禁止	録音、オールクリアが禁止できます。


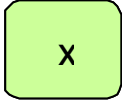
















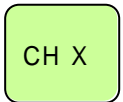
(注) 登録エディタソフト VoiceNavi Editor でカードデータ作成時、ファイル名が WRX001.wav~WRX\*\*\*.wav を使用した場合、再録音できません。ファイル名を変更か、消去してから録音して下さい。

### 4.録音開始・停止


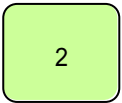
録音モニターを使用しない場合】

再生モード設定		接点制御-通常再生モードに設定します。 リアパネル MODE1-No.1~3 全て OFF
プロテクト解除		リアパネル MODE1 MODE1-No.6 OFF 登録エディタ VoiceNavi Editor で作成したカードデータで WRX001~004(008/16 ).wav 以外の WAVE ファイルが登録さ



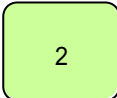
# VoiceNavi

		<b>れている場合</b>																							
<b>録音開始</b>	 + 	REC ボタンを ON 状態にし、CH ボタン X を ON しますと録音を開始します。 CF カードにリアルタイムでアナログ / デジタル変換して PCM 形式で記録します。 REC LED 点灯します。 (注) CH ボタンはプッシュロック式のため、録音開始後、再度 ON して OFF 状態にして下さい。 しない場合、STOP ボタンを ON して録音終了と同時に再生状態になります。																							
<b>マイク入力 (LINE 入力)</b>		(																							
<b>録音終了</b>		ストップボタン ON で録音を終了します。 <b>【残メモリ容量による録音自動終了機能】</b> カード内の残メモリ容量 2MB 未満から REC LED が点滅状態になり、メモリ終了と同時に録音処理を終了します。  <table border="1" data-bbox="810 685 1182 860"> <tr><td>REC LED</td></tr> <tr><td>残メモリ容量 2MB 未満より点滅</td></tr> <tr><td></td></tr> </table> 録音終了後、PCM 形式で記録した音声データのファイルを WAVE ファイル形式・登録エディタファイル VoiceNavi Editor(ボイスナビエディタ)の管理データファイル形式にファイルコンバートします。 この時間は約 1.5 秒間かかります。 <table border="0" data-bbox="798 1039 1302 1294"> <tr> <td></td> <td>REC+CH X</td> <td>STOP</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボタン操作</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>録音</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>PCM録音 CFカード書込</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>WAVE化処理</td> <td></td> <td></td> <td>約1.5秒間</td> </tr> </table>	REC LED	残メモリ容量 2MB 未満より点滅			REC+CH X	STOP		ボタン操作				録音				PCM録音 CFカード書込				WAVE化処理			約1.5秒間
REC LED																									
残メモリ容量 2MB 未満より点滅																									
																									
	REC+CH X	STOP																							
ボタン操作																									
録音																									
PCM録音 CFカード書込																									
WAVE化処理			約1.5秒間																						
<b>試聴</b>		CH ボタン X を ON しますと再生開始します。 STOP ボタンで再生を強制停止します。																							
<b>再録音</b>		上書き録音になります。 上記と同一操作で再録音できます。 (注)チャンネル消去の機能はありません。																							
<b>追加録音</b>		空きチャンネルは、新規録音できます。 注)チャンネル消去の機能はありません。																							

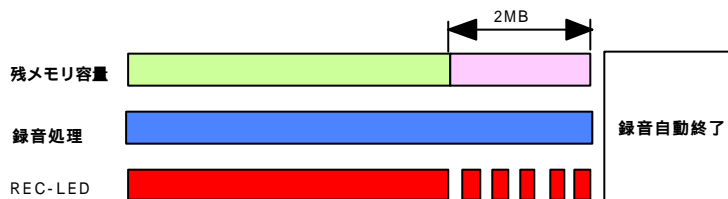
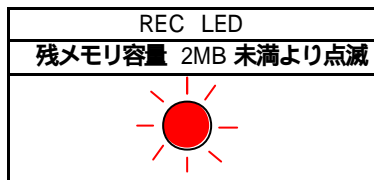
## 録音モニターを使用する場合】

<b>プロテクト解除</b>		リアパネル MODE1 MODE1-No.6 OFF <b>登録エディタ VoiceNavi Editor で作成したカードデータで WRX001 ~ 004(008/16 ).wav 以外の WAVE ファイルが登録されている場合</b>
<b>録音モニター開始</b>	 + 	2 秒以内に CH2 スイッチを OFF にして下さい。 (注)2 秒以上、2 が ON 状態の場合、CH2 を再生します。

# VoiceNavi

録音スタート	 + 	録音スタート後、1-4(8)ボタンを OFF 状態にしてください。 (プッシュロック式のため)
マイク入力 (LINE 入力)		【ハウリングが生じた場合】 スピーカーを離して入力して下さい。
録音終了		STOP 後、WAVE ファイル化処理に 1.5 秒間かかります。 メモ리카ード内の空き容量が終了した場合は自動的に録音を終了します。
録音モニター終了	 + 	2 秒以内に CH2 スイッチを OFF にして下さい。 2 秒以上 ON 状態の場合、CH2 を再生します。

## 【残メモリ容量による録音自動終了機能】



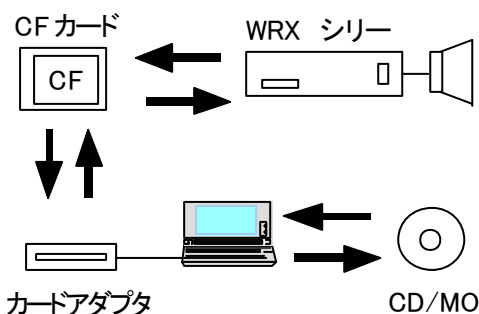
カード内の残メモリ容量 2MB 未満から REC LED が点滅状態になり、メモリ終了と同時に録音処理を終了します。

サンプリングモード	録音時間
	max. 2MB
44.1KHz 16Bit Mono	20 秒前
22.05KHz 16Bit Mono	40 秒前
44.1KHz 8Bit Mono	40 秒前
22.05KHz 8Bit Mono	80 秒前

## 5. 録音データのバックアップとコピー 再利用 編集加工

録音したデータのバックアップは Windows パソコンとカードアダプタでできます。

データのバックアップとコピー	Windows パソコン上または CD-R などにバックアップできます。 バックアップしたデータを別のカードにコピーして使用できます。
データの再利用	録音した WAVE ファイルは、登録エディタ VoiceNavi Editor を使用して、個別に再利用して、別のカードデータを作成できます。
データの編集加工	WAVE ファイルですので、WindowsOS 付属の録音ソフト サウンドレコーダ やフリー・市販の録音編集ソフトで編集加工して、利用できます。 この場合、Flash カード「コンパクトフラッシュ」内の WAVE ファイルをダイレクトの編集加工もできますが、バックアップ・編集加工後、再度、カードにコピーした方がデータ保持上安全です。



WRX シリーズでダイレクト録音したデータは CF カードに WAVE ファイル形式で記録されますので、カードアダプタを経由して、Windows パソコン上のハードディスクにバックアップできます。

WAVE ファイルですので、Windows パソコン上で試聴できます。

# VoiceNavi

## 26 .パソコン上での WRX シリーズ用カードデータの作成

WRX シリーズは登録エディタソフト VoiceNavi Editor(ボイスナビエディタ)で既存の WAVE ファイルを登録・作成したカードデータを使用することができます。組立再生やリピート回数などの設定もできます。

また WRX シリーズ本体で録音した CF カード内の録音データ・管理データ内容を登録エディタソフト VoiceNavi Editor(ボイスナビエディタ)で見る事ができます。当然、組立再生やリピート回数などの設定や既存の WAVE ファイルの登録もできます。

(注)プログラム登録した場合、WRX7200/7700 上で再録音できません。

### 【WAV/WRX シリーズ用登録エディタソフト VoiceNavi Editor (ボイスナビエディタ)】

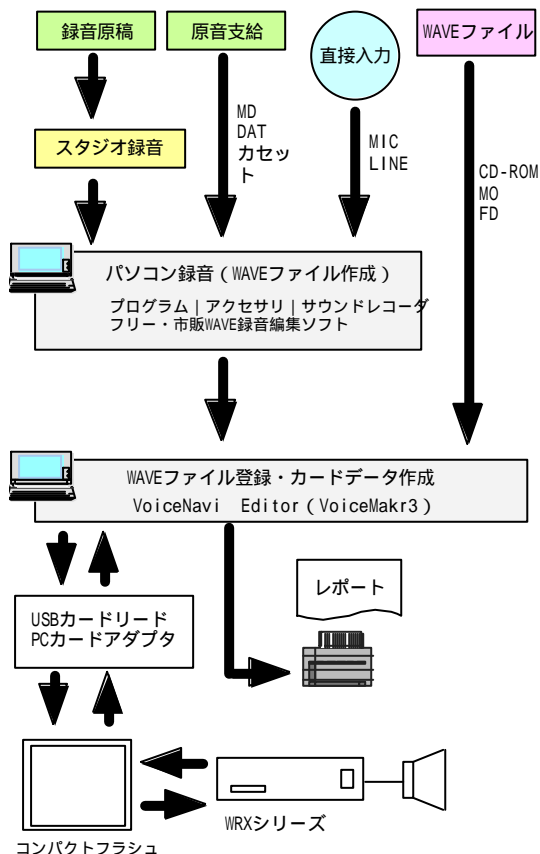


本ソフトは Windows パソコン上で、試聴しながら WAVE ファイル登録、アドレス (接点端子)登録してカードデータファイルを作成します。その際、組立再生、リピート再生回数などのプログラム登録もできます。WAVEファイル /カード作成情報の表示 /印刷もできます。WRX シリーズで録音した Flash カードのデータを読み込み、Windows パソコン上で試聴、アドレス (接点端子)変更、組立再生・リピート再生回数の登録後、カード作成などできます。

適用 OS:Windows98SE/Me/2000/XP

CD-ROM 版

無償ダウンロード版 <http://www.voicenavi.co.jp/>



WRX シリーズで録音した場合、上記の WAVE ファイル以外に、接点端子・アドレスと WAVE ファイル (.wav)とを管理するカードデータファイルを自動作成します。

本カードデータファイルは登録エディタ VoiceNavi Editor 上で作成したカードデータファイルと作成情報・プログラム再生登録情報を除き、同一形式です。

同一形式ですので、登録エディタソフト VoiceNavi Editor 上で WAVE ファイルの登録、アドレス登録、組立再生やリピート回数設定などのプログラム再生登録、試聴シミュレーション、個々の WAVE ファイル情報 (時間・サンプリング) や作成情報をプリントアウト できます。

登録エディタソフト VoiceNavi Editor の取扱説明書をご参照下さい。

(注)

WRX シリーズ用のカードデータ作成の場合、設定画面—B mode(WRX series 用)に設定して WAVE ファイルを登録して下さい。

# VoiceNavi

## 【WRX シリーズで録音したカードデータ内容】

登録エディタソフトVoiceNavi Editor (ボイスナビエディタ)で見る場合、WAVE ファイル登録画面などのファイル読み込みで、録音済みCF カード内の下記ファイル名を指定して開きます。

【指定するファイル名】 default.wpj

## 【WAVE ファイル登録画面】

No.	WAVE	SAMP	Bit	TYPE	SEC	BYTES
01	WRX001.wav		SAMP			
02	WRX002.wav					
03	WRX003.wav					
04	WRX004.wav					
05	:					

ファイル名	default.wpj
合計時間	
容量表示	
積算カード 容量	

## 【画面とWRXシリーズの関係】

	名称	説明
No.	番号	No. 1～255
WAVE	WAVE ファイル名	ファイル名 WRX シリーズ本体で録音しますと自動的に WRX001.wav～WRX016.wav のファイル名を付記します。
SAMP	サンプリング周波数	サンプリングモードのサンプリング周波数 (例)44.1
Bit	Bit 数	サンプリングモードの Bit 数 (例)16
TYPE	タイプ	サンプリングモードの音源形式 (例)WAVE
BYTES	バイト数	ファイル容量

## 【アドレス・プログラム登録画面】

No.	SP	R	Sec.	1	2	3	4	5	6	7	8
01	1	1		WRX001.wav							
02	1	1		WRX002.wav							
03	1	1		WRX003.wav							
04	1	1		WRX004.wav							
:	1	1		WRX005.wav							

## 【画面とWRXシリーズの関係】

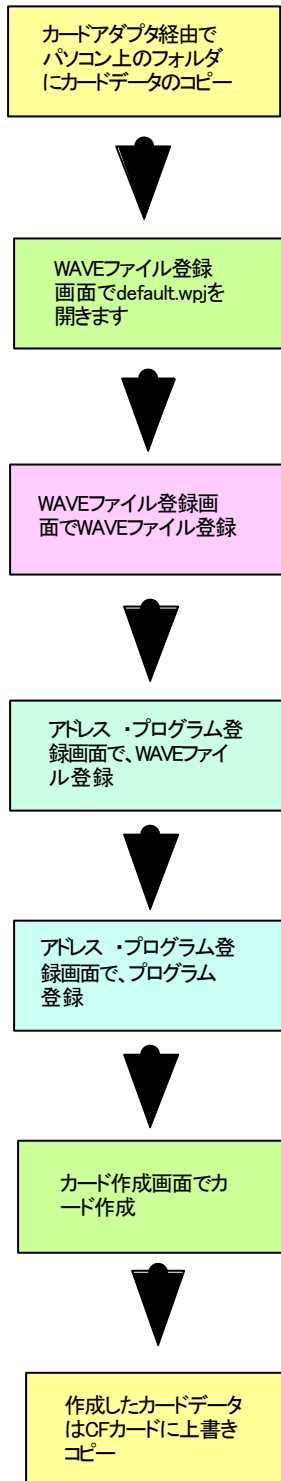
		説明
No.	アドレス (10 進表示)	スイッチ 1～4(8/16) 端子台 1～4(8/16)
SP	SP	未使用
R	リピート回数	デフォルト1 1 回再生
1	ファイル名1	録音すると自動的に WRX001.wav～定義します。
2～8	ファイル名1	未使用

(注)登録エディタソフト上では R、1～8を追加または変更できます。

# VoiceNavi

## 【WRX シリーズ本体で録音したカードを読み込み、プログラム登録をしたい場合】

(注)プログラム登録した場合、 WRX シリーズ上で再録音できません。



CF カードのデータをカードアダプタ経由で、パソコン内のフォルダにコピーします。

(注)カードアダプタ経由でダイレクトでも操作可

WAVE ファイル登録画面でそのフォルダ内のカードデータファイル default.wpj を指定し、開きます。

### 【既存 WAVE ファイルを追加したい場合】

WAVE ファイル登録画面で使用する WAVE ファイルを登録します。(試聴できます)

アドレス・プログラム登録画面で、 WAVE ファイルをアドレス(押しボタン・接点端子)に登録します。(試聴できます)

### 【WRX シリーズで再録音したい場合】

WRX シリーズ上で再録音したい場合は、 WAVE ファイル名を WRX001.wav~WRX\*\*\*.wav をご使用下さい。他のファイル名の WAVE ファイルを使用した場合、 WRX シリーズ上では再録音できません。

アドレス・プログラム登録画面で、プログラム登録できます。

### 【プログラム再生登録】

組立再生登録	8wav ファイル max.
リピート回数登録	5 回 max. 上記組立再生登録全体×リピート回数

(注)

プログラム登録した場合、 WRX シリーズ上で再録音できません。

カード作成画面で、所定事項を入力し、カードデータ作成ボタンでカードデータを作成します。

CF カードに上書きコピーする場合、カードデータファイル名は、default.wpj のまま、カードデータ作成します。

新規のカードデータファイル名でカード作成した場合、CF カードをフォーマットしてからコピーして下さい。(または上書きコピー後、default.wpj を削除して下さい)

## 【既存の WAVE ファイルを使用してカードデータを作成したい場合】

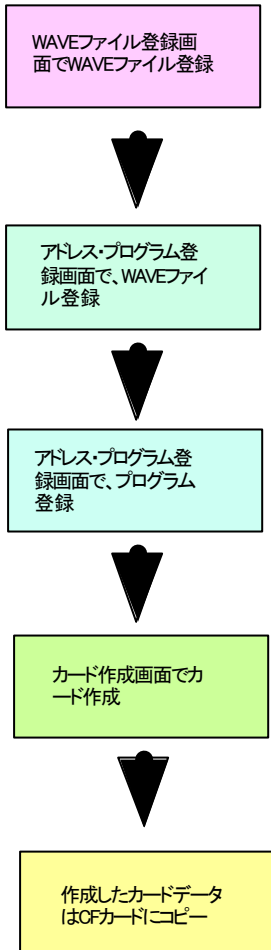
設定画面(モード)で B mode(WRX series)を設定。

設定画面(フォルダ)で WAVE ファイル収納先のフォルダを設定。

WAVE ファイル登録画面で使用する WAVE ファイルを登録します。(試聴できます)



# VoiceNavi



アドレス・プログラム登録画面で、WAVE ファイルをアドレス(押しボタン・接点端子)に登録します。

## 【WRX シリーズで再録音したい場合】

WRX シリーズ上で再録音したい場合は、WAVE ファイル名を WRX001.wav～WRX\*\*\*.wav をご使用下さい。他のファイル名の WAVE ファイルを使用した場合、WRX700B 上では再録音できません。

アドレス・プログラム登録画面で、プログラム登録できません。

## 【プログラム再生登録】

組立再生登録	8wav ファイル max.
リピート回数登録	5 回 max. 上記組立再生登録全体×リピート回数

カード作成画面で、所定事項を入力し、カードデータ作成ボタンでカードデータを作成します。

# VoiceNavi

## ■ 標準仕様 外形寸法図

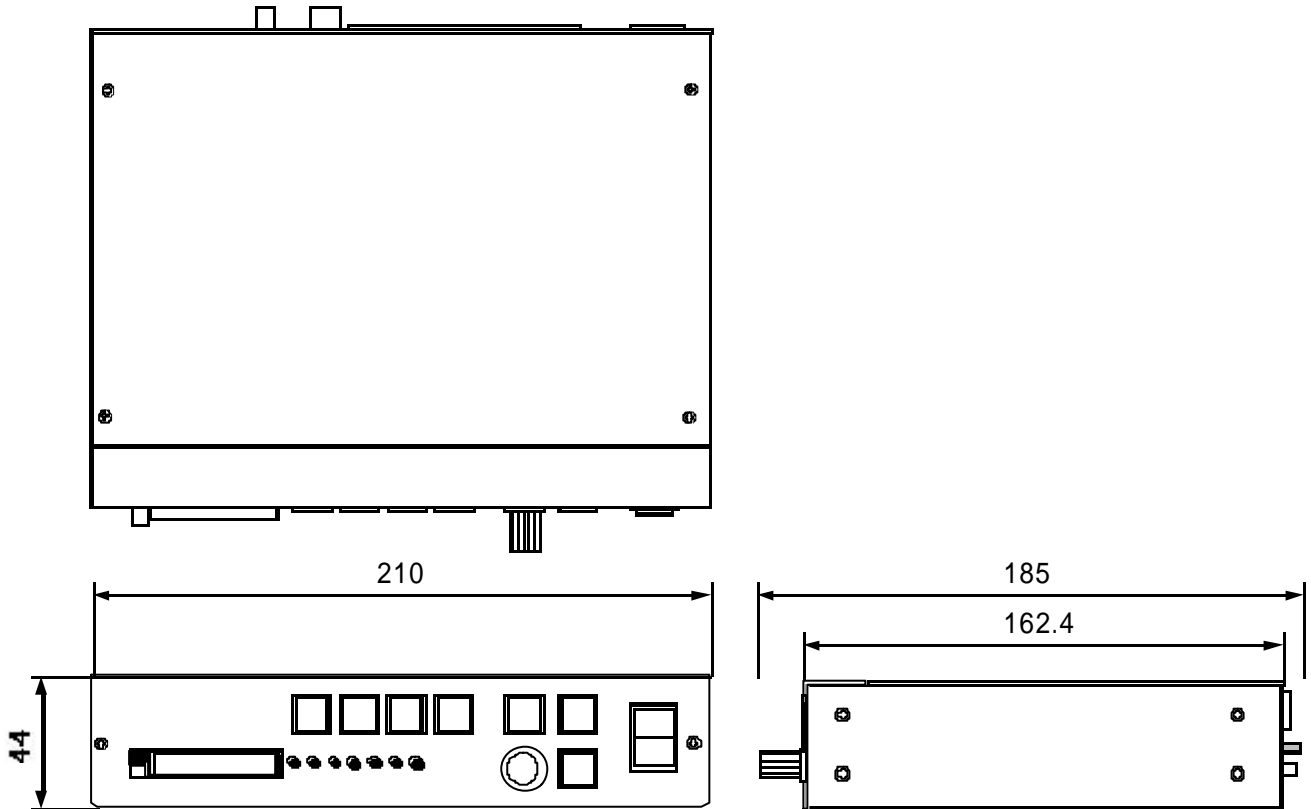
### 【VRX7200II】

定格使用電圧	AC100V 50/60Hz																													
消費電力	待機時 11Wmax. 最大時 25Wmax.																													
寸法・重量	210W X 180D X 44H mm 約 1.6Kg																													
仕上・塗装	アイボリー 焼付塗装 スチール 1.6mm厚																													
使用環境	使用時: -5°C~55°C 35%~80%RH 保存時: ?10°C~70°C (但し結露なき事)																													
録音・再生方式	PCM 44.1/22.05KHz 16/8Bit mono (混在サンプリングモード録音可) データ保存形式: 録音終了時、WAVE ファイル形式で記録 カードデータ形式: 登録エディタソフト VoiceNavi Editor 対応																													
再生帯域	300~10KHz																													
音声入力	MIC 入力(不平衡) ミニプラグ リアパネル LINE 入力(不平衡) ミニプラグ リアパネル <マイク放送>ボタン																													
音声出力	SP 出力 5Wmax.8Ω M3 端子台 リアパネル LINE 出力 600Ω 0dBm RCAピン リアパネル <ライン・スルー>機能装備																													
音量調整	SP 出力 シャフトツミ VR リアパネル LINE 出力 ボード上半固定 VR3 -7dB~9dB																													
適用カード	Flash カード 「コンパクトフラッシュ」 32/64/128MB 1枚 max.																													
録音 CH 数	ダイレクト録音の場合 4CHmax																													
登録 CH 数	登録エディタの場合 4CHmax. プログラム再生登録対応																													
録音時間 登録時間	カード容量とサンプリングによる (サンプリングはリアパネル DIPSW で設定)																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">カード 容量</th> <th colspan="2">22.05KHz</th> <th colspan="2">44.1KHz</th> </tr> <tr> <th>16Bit</th> <th>8Bit</th> <th>16Bit</th> <th>8Bit</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>32MB</td> <td>11.2 分</td> <td>22.4 分</td> <td>5.6 分</td> <td>11.2 分</td> </tr> <tr> <td>64MB</td> <td>22.4 分</td> <td>44.8 分</td> <td>11.2 分</td> <td>22.4 分</td> </tr> <tr> <td>128MB</td> <td>44.8 分</td> <td>89.6 分</td> <td>22.4 分</td> <td>44.8 分</td> </tr> <tr> <td>256MB</td> <td>89.6 分</td> <td>179.2 分</td> <td>44.8 分</td> <td>89.6 分</td> </tr> </tbody> </table>	カード 容量	22.05KHz		44.1KHz		16Bit	8Bit	16Bit	8Bit	32MB	11.2 分	22.4 分	5.6 分	11.2 分	64MB	22.4 分	44.8 分	11.2 分	22.4 分	128MB	44.8 分	89.6 分	22.4 分	44.8 分	256MB	89.6 分	179.2 分	44.8 分	89.6 分
カード 容量	22.05KHz		44.1KHz																											
	16Bit	8Bit	16Bit	8Bit																										
32MB	11.2 分	22.4 分	5.6 分	11.2 分																										
64MB	22.4 分	44.8 分	11.2 分	22.4 分																										
128MB	44.8 分	89.6 分	22.4 分	44.8 分																										
256MB	89.6 分	179.2 分	44.8 分	89.6 分																										
	(注)混在サンプリングモード対応																													
再生時間	ダイレクト録音の場合 録音した時間 登録エディタの場合 登録した時間またはプログラム内容による																													
制 御	<p>■接点制御: 8CHmax. 録音/再生 押しボタン&amp;端子台 フロントパネルの押しボタン制御またはリアパネル端子台の接点制御</p> <p>●押しボタン 接点制御: 8CH 録音/再生 1-8 プッシュロック STOP/REC-プッシュ</p> <p>●端子台 接点制御: 8CH 録音/再生 IN: /1-8 /STOP /OP/REC 無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ OUT: /BUSY /ALM オープンコレクタ出力 (DC+50V 500mA) (再生モード) 通常再生/後入力切替/優先順位/順番再生 (インターバルタイマー) 1~15/20/30/45 分 (通常再生モード時有効) DIPSW 設定</p>																													
その他	<p>●&lt;マイク放送&gt;ボタン 押しボタンまたは端子台による CM 放送中でも、マイク放送ボタン ON で CM 放送をミュートし、マイク放送できます。マイク放送ボタン OFF で CM 放送になります。</p> <p>●&lt;ライン・スルー&gt;機能 ライン入力の有線放送や BGM 放送機器の BGM 放送をミュートして、押しボタンまたは端子台による CM 放送をすることができます。なおインターバルタイマー作動中は BGM 放送します。</p> <p>●&lt;マイク放送&gt;ボタン 押しボタンまたは端子台による CM 放送中でも、マイク放送ボタン ON で CM 放送をミュートし、マイク放送できます。マイク放送ボタン OFF で CM 放送になります。</p> <p>●登録エディタソフト VoiceNavi Editor 対応 登録エディタソフト VoiceNavi Editor で作成したカードデータを使用できます。 組立再生、リピート回数設定などのプログラム登録ができます。 組立再生 1 接点-8wave max. リピート回数 1 接点-5 回 max.</p>																													

# VoiceNavi

	<p>●自動 WAVE ファイル形式 保存 録音したデータは WAVE ファイル形式でカード内に保存します</p>
オプション	<p>Flash カード 「コンパクトフラッシュ」 32/64/128/256MB (メーカー・型式指定有 )          WAV-EIA210S 補助金具 EIA ラック収納 1 台用          WAV-E/2S 補助金具 EIA ラック収納 2 台用          WAV-LKANAGU L金具          登録エディタソフト VoiceNavi Editor CD-ROM 版          登録エディタソフト パック VoiceNavi Editor (USB カードアダプタ付)</p>

【外観図 WRX7200II】



# VoiceNavi

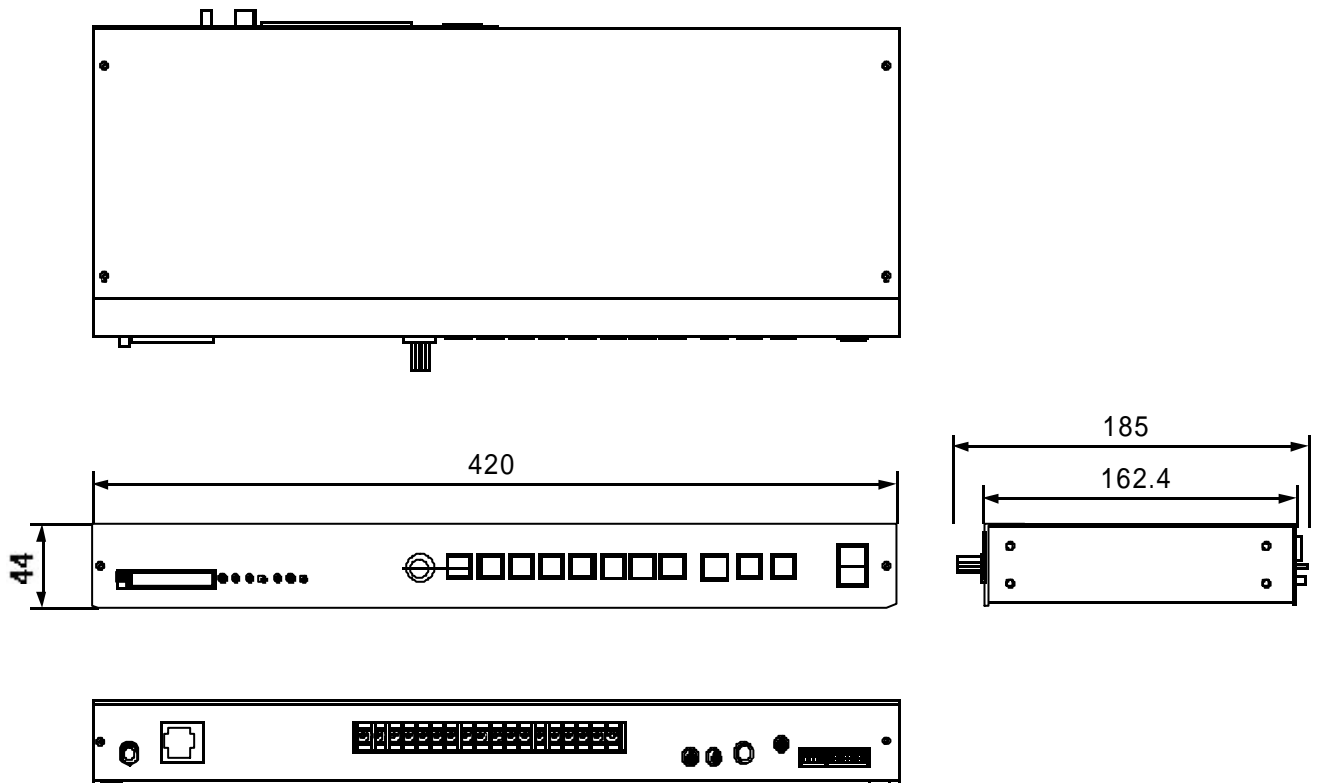
## 【RX7700II】

定格使用電圧	AC100V 50/60Hz または DC+24V±5%																													
消費電力	AC100V時 待機時 11Wmax. 最大時 28Wmax. DC+24V時 待機時 110mA 最大時 280mA																													
寸法・重量	420W X 180D X 44H mm 約 2.6Kg EIA ラック収納対応																													
仕上・塗装	アイボリー 焼付塗装 スチール 1.6mm 厚																													
使用環境	使用時: -5°C~55°C 35%~80%RH 保存時: ?10°C~70°C(但し結露なき事)																													
録音・再生方式	PCM 44.1/22.05KHz 16/8Bit mono (混在サンプリングモード録音可) データ保存形式: 録音終了時、WAVE ファイル形式で記録 カードデータ形式: 登録エディタ VoiceNavi Editor 対応																													
再生帯域	300~10KHz																													
音声入力	MIC 入力(不平衡) ミニプラグ リアパネル LINE 入力(不平衡) ミニプラグ リアパネル																													
音声出力	SP 出力 5W/1Wmax.8Ω M3 端子台 リアパネル LINE 出力 600Ω 0dBm RCAピン リアパネル <ライン・スルー>機能装備																													
音量調整	SP 出力 シャフトツマミ VR リアパネル LINE 出力 (本体内部ボード上半固定 VR3 -7dB~9dB)																													
適用カード	Flash カード 「コンパクトフラッシュ」 32/64/128/256MB 1 枚 max.																													
録音 CH 数 登録 CH 数	ダイレクト録音の場合 接点制御 8CHmax 登録エディタソフトの場合 接点制御 8CHmax. プログラム再生登録対応 バイナリ制御 255CHmax. プログラム再生登録対応 RS232C 制御 255CHmax. プログラム再生登録対応																													
録音時間 登録時間	カード容量とサンプリングによる (サンプリングはリアパネル DIPSW で設定) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">カード 容量</th> <th colspan="2">22.05KHz</th> <th colspan="2">44.1KHz</th> </tr> <tr> <th>16Bit</th> <th>8Bit</th> <th>16Bit</th> <th>8Bit</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>32MB</td> <td>11.2 分</td> <td>22.4 分</td> <td>5.6 分</td> <td>11.2 分</td> </tr> <tr> <td>64MB</td> <td>22.4 分</td> <td>44.8 分</td> <td>11.2 分</td> <td>22.4 分</td> </tr> <tr> <td>128MB</td> <td>44.8 分</td> <td>89.6 分</td> <td>22.4 分</td> <td>44.8 分</td> </tr> <tr> <td>256MB</td> <td>89.6 分</td> <td>179.2 分</td> <td>44.8 分</td> <td>89.6 分</td> </tr> </tbody> </table> (注)混在サンプリングモード対応	カード 容量	22.05KHz		44.1KHz		16Bit	8Bit	16Bit	8Bit	32MB	11.2 分	22.4 分	5.6 分	11.2 分	64MB	22.4 分	44.8 分	11.2 分	22.4 分	128MB	44.8 分	89.6 分	22.4 分	44.8 分	256MB	89.6 分	179.2 分	44.8 分	89.6 分
カード 容量	22.05KHz		44.1KHz																											
	16Bit	8Bit	16Bit	8Bit																										
32MB	11.2 分	22.4 分	5.6 分	11.2 分																										
64MB	22.4 分	44.8 分	11.2 分	22.4 分																										
128MB	44.8 分	89.6 分	22.4 分	44.8 分																										
256MB	89.6 分	179.2 分	44.8 分	89.6 分																										
再生時間	ダイレクト録音の場合 接点制御 8CH 登録エディタ使用の場合 接点制御 8CH プログラム登録対応 バイナリ/RS232C 制御 255CH プログラム登録対応																													
制 御	(リアパネル DIPSW で設定) <b>■</b> 接点制御:8CHmax. 録音/再生 押しボタン&端子台 フロントパネルの 押しボタン制御またはリアパネル端子台の接点制御 <b>●</b> 押しボタン 接点制御:8CH 録音/再生 1-8 プッシュロック STOP/REC-プッシュ <b>●</b> 端子台 接点制御:8CH 録音/再生 IN:/1-8 /STOP /OP/REC 無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ OUT:/BUSY /ALM オープンコレクタ出力 (DC+50V 500mA) (再生モード) 通常再生/後入力切替/優先順位/順番再生 (インターバルタイマー) 1~15 分/20/30/45 分 (通常再生モード時有効)DIPS 設定 <b>■</b> バイナリ制御: 255CHmax.(再生専用) 端子台 <受信中再生>バッファ 20CHmax. IN:/1-8 /STOP /OP または NPN オープンコレクタ OUT:/BUSY /ALM オープンコレクタ出力 (DC+50V 500mA) <b>■</b> RS232C 制御:255CHmax.(再生専用) 9Pin-Dsub & 端子台 <組立再生>バッファ 10CHmax. <受信中再生>バッファ 20CHmax. 非同期式 全二重 9600bps 8Bit AscII 9Pin-Dsub コネクタ 再生停止 00Hまたは/STOP 入力 /STOP 無電圧メーク/NPN オープンコレクタ M3 ネジ端子台 /BUSY /ALM オープンコレクタ出力 DC+50V 500mA M3 ネジ端子台																													
その他	●<ライン・スルー >機能 ライン入力の有線放送や BGM 放送機器の BGM 放送をミュートして、押しボタンまたは端																													

# VoiceNavi

	<p>子台による CM 放送をすることができます。          なおインターバルタイマー作動中は BGM 放送します。</p> <p>●&lt;マイク放送&gt;ボタン          押しボタンまたは端子台による CM 放送中でも、マイク放送ボタン ON で CM 放送をミュートし、マイク放送できます。マイク放送ボタン OFF で CM 放送になります。</p> <p>●登録エディタソフト VoiceNavi Editor 対応          登録エディタソフト VoiceNavi Editor で作成したカードデータを使用できます。          組立再生、リピート回数設定などのプログラム登録ができます。          組立再生 1 接点-8wave max. リピート回数 1 接点-5 回 max.</p> <p>●自動 WAVE ファイル形式保存          録音したデータは WAVE ファイル形式でカード内に保存します</p>
オプション	<p>Flash カード 「コンパクトフラッシュ」 32/64/128/256MB (メーカー・型式指定有 )</p> <p>WAV-EIA210S 補助金具 EIA ラック収納 1 台用</p> <p>WAV-E/2S 補助金具 EIA ラック収納 2 台用</p> <p>WAV-LKANAGU L 金具</p> <p>登録エディタソフト ソフト単体 VoiceNavi Editor CD-ROM 版          パック版 VoiceNavi Editor (USB カードアダプタ付)</p> <p>&lt;テキスト入力&gt;アナウンサーソフト          ソフト単体 VoiceNavi Announcer CD-ROM 版          パック版 VoiceNavi Announcer (USB カードアダプタ付)</p>

【外観図 WRX7700II】



# VoiceNavi

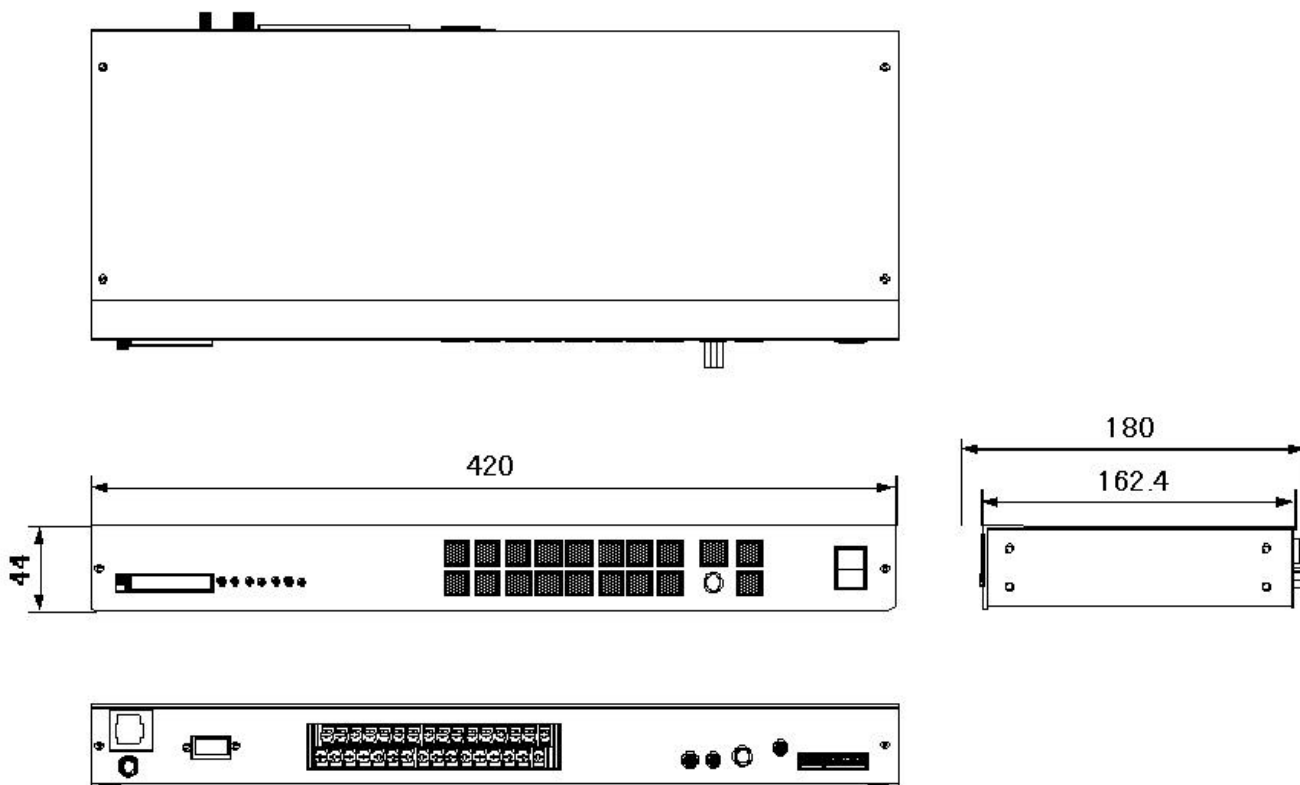
【WRX7800II】

定格使用電圧	AC100V 50/60Hz または DC+24V±5%																													
消費電力	AC100V時 待機時 11Wmax. 最大時 28Wmax. DC+24V時 待機時 110mA 最大時 280mA																													
寸法・重量	420W X 180D X 44H mm 約 2.6Kg EIA ラック収納対応																													
仕上・塗装	アイボリー 焼付塗装 スチール 1.6mm 厚																													
使用環境	使用時: -5°C~55°C 35%~80%RH 保存時: ?10°C~70°C(但し結露なき事)																													
録音・再生方式	PCM 44.1/22.05KHz 16/8Bit mono (混在サンプリングモード録音可) データ保存形式: 録音終了時、WAVE ファイル形式で記録 カードデータ形式: 登録エディタ VoiceNavi Editor 対応																													
再生帯域	300~10KHz																													
音声入力	MIC 入力(不平衡) ミニプラグ リアパネル LINE 入力(不平衡) ミニプラグ リアパネル																													
音声出力	SP 出力 5W/1Wmax.8Ω M3 端子台 リアパネル LINE 出力 600Ω 0dBm RCAピン リアパネル <ライン・スルー>機能装備																													
音量調整	SP 出力 シャフトツマミ VR リアパネル LINE 出力 (本体内部ボード上半固定 VR3 -7dB~9dB)																													
適用カード	Flash カード 「コンパクトフラッシュ」 32/64/128/256MB 1 枚 max.																													
録音 CH 数 登録 CH 数	ダイレクト録音の場合 接点制御 16CHmax 登録エディタソフトの場合 接点制御 16CHmax. プログラム再生登録対応 バイナリ制御 255CHmax. プログラム再生登録対応 RS232C 制御 255CHmax. プログラム再生登録対応																													
録音時間 登録時間	カード容量とサンプリングによる (サンプリングはリアパネル DIPSW で設定) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">カード 容量</th> <th colspan="2">22.05KHz</th> <th colspan="2">44.1KHz</th> </tr> <tr> <th>16Bit</th> <th>8Bit</th> <th>16Bit</th> <th>8Bit</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>32MB</td> <td>11.2 分</td> <td>22.4 分</td> <td>5.6 分</td> <td>11.2 分</td> </tr> <tr> <td>64MB</td> <td>22.4 分</td> <td>44.8 分</td> <td>11.2 分</td> <td>22.4 分</td> </tr> <tr> <td>128MB</td> <td>44.8 分</td> <td>89.6 分</td> <td>22.4 分</td> <td>44.8 分</td> </tr> <tr> <td>256MB</td> <td>89.6 分</td> <td>179.2 分</td> <td>44.8 分</td> <td>89.6 分</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)混在サンプリングモード対応</p>	カード 容量	22.05KHz		44.1KHz		16Bit	8Bit	16Bit	8Bit	32MB	11.2 分	22.4 分	5.6 分	11.2 分	64MB	22.4 分	44.8 分	11.2 分	22.4 分	128MB	44.8 分	89.6 分	22.4 分	44.8 分	256MB	89.6 分	179.2 分	44.8 分	89.6 分
カード 容量	22.05KHz		44.1KHz																											
	16Bit	8Bit	16Bit	8Bit																										
32MB	11.2 分	22.4 分	5.6 分	11.2 分																										
64MB	22.4 分	44.8 分	11.2 分	22.4 分																										
128MB	44.8 分	89.6 分	22.4 分	44.8 分																										
256MB	89.6 分	179.2 分	44.8 分	89.6 分																										
再生時間	ダイレクト録音の場合 接点制御 16CH 登録エディタソフト 使用の場合 接点制御 16CH プログラム登録対応 バイナリ/RS232C 制御 255CH プログラム登録対応																													
制 御	(リアパネル DIPSW で設定) <b>■</b> 接点制御: 16CHmax. 録音/再生 押しボタン&端子台 フロントパネルの押しボタン制御またはリアパネル端子台の接点制御 <b>●</b> 押しボタン 接点制御: 16CH 録音/再生 1-16 プッシュロック STOP/REC-プッシュ <b>●</b> 端子台 接点制御 16CH 録音/再生 IN: /1-16 /STOP /OP/REC 無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ OUT: /BUSY /ALM オープンコレクタ出力 (DC+50V 500mA) (再生モード) 通常再生/後入力切替/優先順位/順番再生 (インターバルタイマー) 1~15分/20/30/45分 (通常再生モード時有効) DIPS 設定 <b>■</b> バイナリ制御: 255CHmax.(再生専用) 端子台 <受信再生>バッファ 20CHmax. IN: /1-8 /STOP /OP または NPN オープンコレクタ OUT: /BUSY /ALM オープンコレクタ出力 (DC+50V 500mA) <b>■</b> RS232C 制御: 255CHmax.(再生専用) 9Pin-Dsub & 端子台 <組立再生>バッファ 10CHmax. <受信再生>バッファ 20CHmax. 非同期式 全二重 9600bps 8Bit AscII 9Pin-Dsub コネクタ 再生停止 00Hまたは /STOP 入力 /STOP 無電圧メーク /NPN オープンコレクタ M3 ネジ端子台 /BUSY /ALM オープンコレクタ出力 DC+50V 500mA M3 ネジ端子台																													
その他	●<ライン・スルー>機能 ライン入力の有線放送や BGM 放送機器の BGM 放送をミュートして、押しボタンまたは端																													

# VoiceNavi

	<p>子台による CM 放送をすることができます。          なおインターバルタイマー作動中は BGM 放送します。</p> <p>●&lt;マイク放送&gt;ボタン          押しボタンまたは端子台による CM 放送中でも、マイク放送ボタン ON で CM 放送をミュートし、マイク放送できます。マイク放送ボタン OFF で CM 放送になります。</p> <p>●登録エディタソフト VoiceNavi Editor 対応          登録エディタソフト VoiceNavi Editor で作成したカードデータを使用できます。          組立再生、リピート回数設定などのプログラム登録ができます。          組立再生 1 接点-8wave max. リピート回数 1 接点-5 回 max.</p> <p>●自動 WAVE ファイル形式保存          録音したデータは WAVE ファイル形式でカード内に保存します</p>
オプション	<p>Flash カード 「コンパクトフラッシュ」 32/64/128/256MB (メーカー・型式指定有 )</p> <p>WAV-EIA210S 補助金具 EIA ラック収納 1 台用</p> <p>WAV-E/2S 補助金具 EIA ラック収納 2 台用</p> <p>WAV-LKANAGU L 金具</p> <p>登録エディタソフト ソフト単体 VoiceNavi Editor CD-ROM 版          パック版 VoiceNavi Editor (USB カードアダプタ付)</p> <p>&lt;テキスト入力&gt;アナウンサーソフト          ソフト単体 VoiceNavi Announcer CD-ROM 版          パック版 VoiceNavi Announcer (USB カードアダプタ付)</p>

【外観図 WRX7800II】

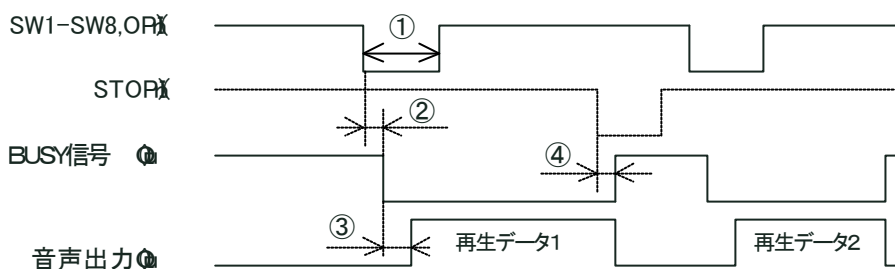


## 入出力信号&タイミングチャート

信号名	ホスト側	内容	パルス幅	備考
/1-4(8)	OUT	無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ	50mS 以上	
/OP	OUT	無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ	50mS 以上	
/STOP	OUT	無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ	50mS 以上	
/REC(P/R)	OUT	無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ	50mS 以上	WRX7700 装備
/BUSY	IN	オープンコレクタ DC+50V 500mA		
/ALM	IN	オープンコレクタ DC+50V 500mA		WRX7700 装備

### 接点制御 再生の場合

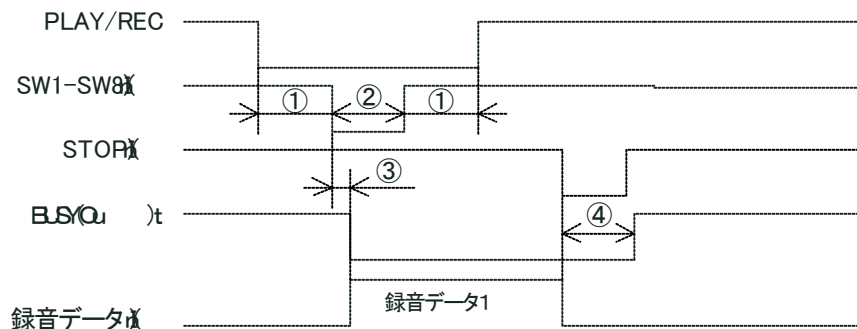
No.	信号名称	時間
①	SW/OP 入力時間	50ms min.
②	BUSY 出力タイミング	50ms max.
③	音声出力タイミング	130ms max.
④	音声終了タイミング	50ms max.



### ■接点制御 録音の場合

No.	信号名称	時間
①	SW 入力タイミング	50ms min.
②	SW 入力時間	50ms min.
③	RBUSY 出力タイミング	50ms max.
④	RBUSY 終了タイミング	1.5S max.

注. 終了時は録音データの取り込みが終了しても、CF カードへの処理等の関係で、「RBUSY」が復帰するのに約 1.5 秒程度遅れます



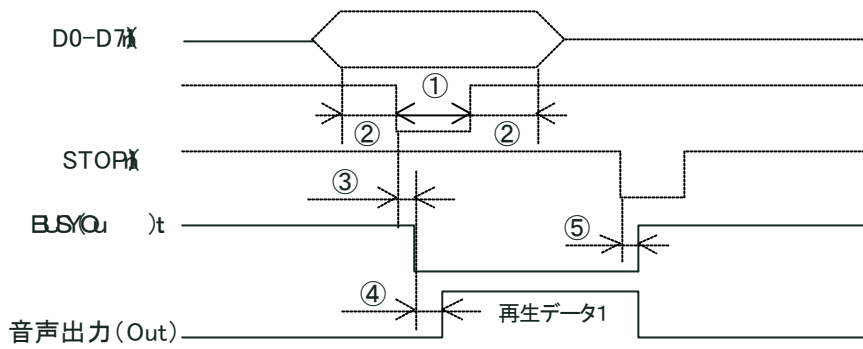
### ■バイナリ制御の場合 (注) 再生専用 録音制御はできません。

No.	信号名称	時間
①	OP 入力時間	50ms min.
②	データセットアップ時間	50ms min.
③	BUSY 出力タイミング	50ms max.
④	音声出力タイミン グ	130ms max.
⑤	音声終了タイミン グ	50ms max.

注. BUSY 出力は PBUSY を含みます

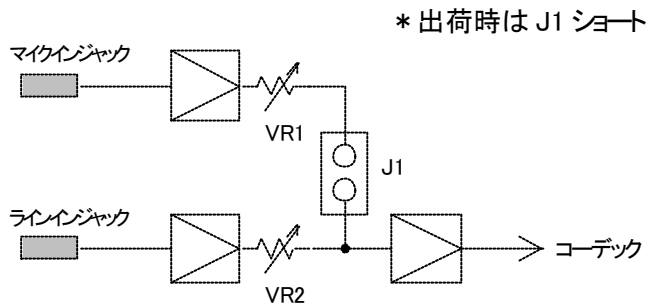


# VoiceNavi

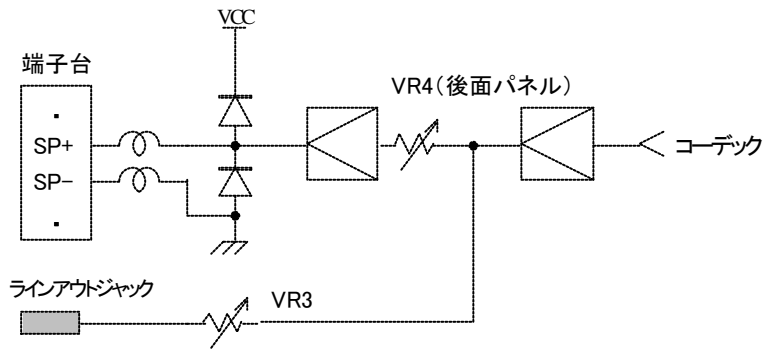


**等価回路** (注)耐ノイズ・耐振動対策した< FA 仕様>ではありません。

## 【マイクイン・ラインイン】

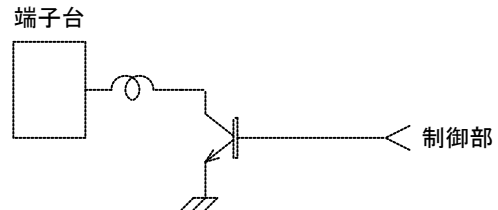
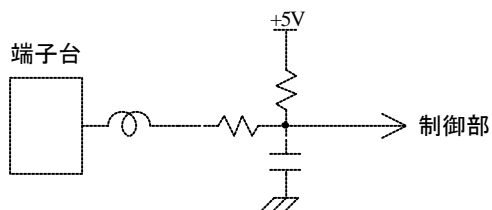


## 【スピーカーアウト・ラインアウト】



**【入力信号ライン】** SW1-4(8/16) OP STOP

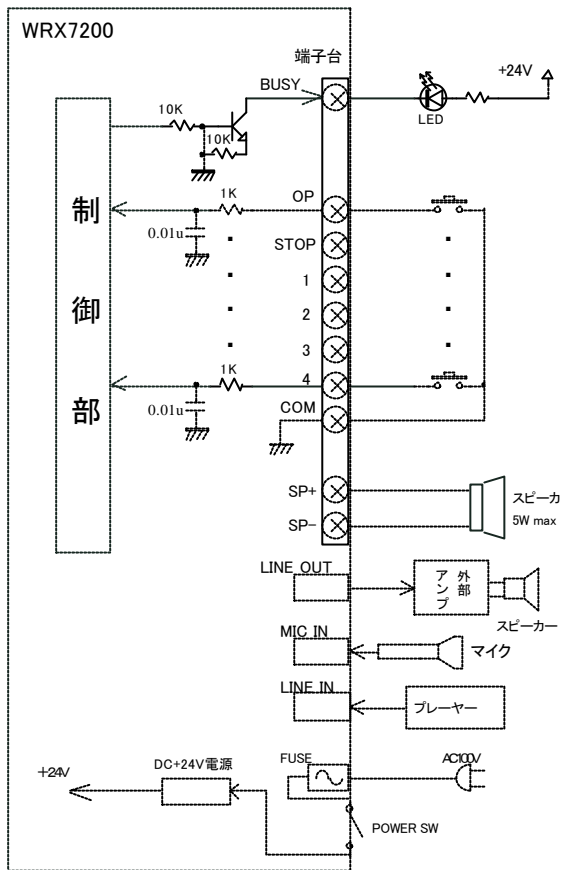
**【出力信号ライン】** BUSY ALM



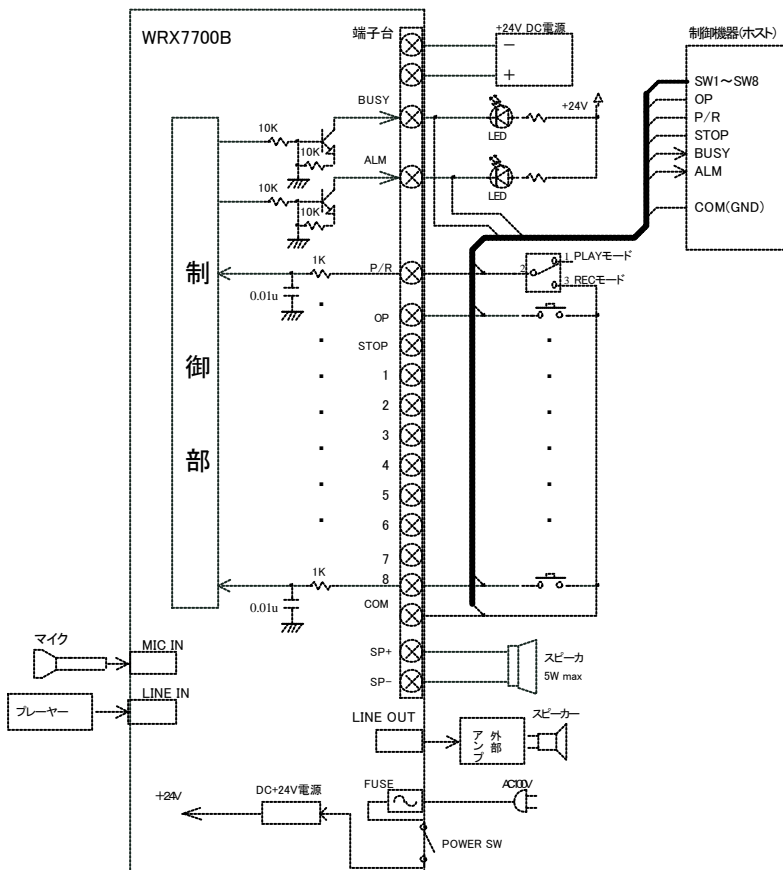
# VoiceNavi

## 接続参考図

【WRX7200II】

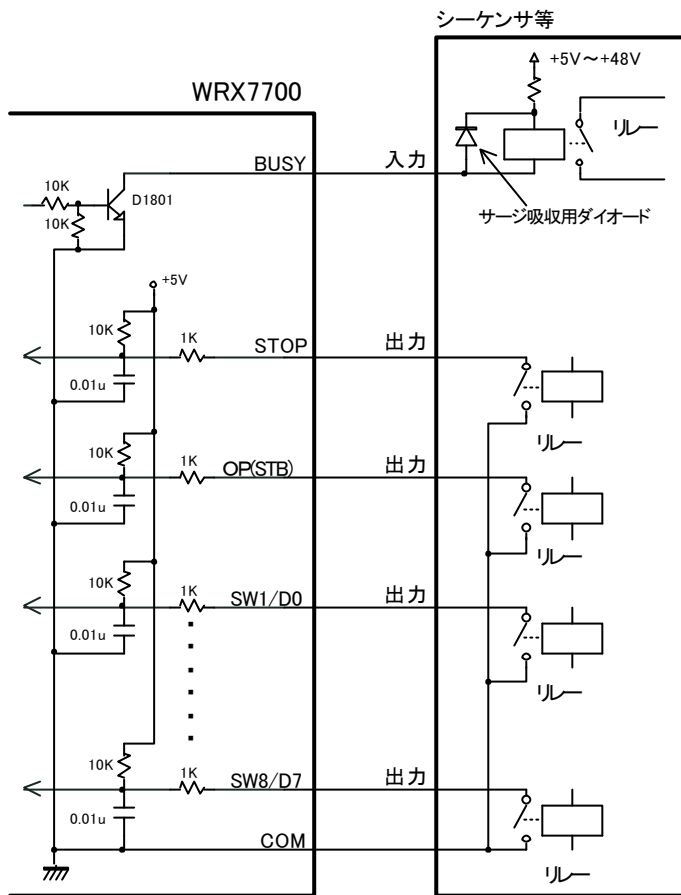


【WRX7700II/7800II】録音はスイッチで、再生はホストより255CH バイナリ制御



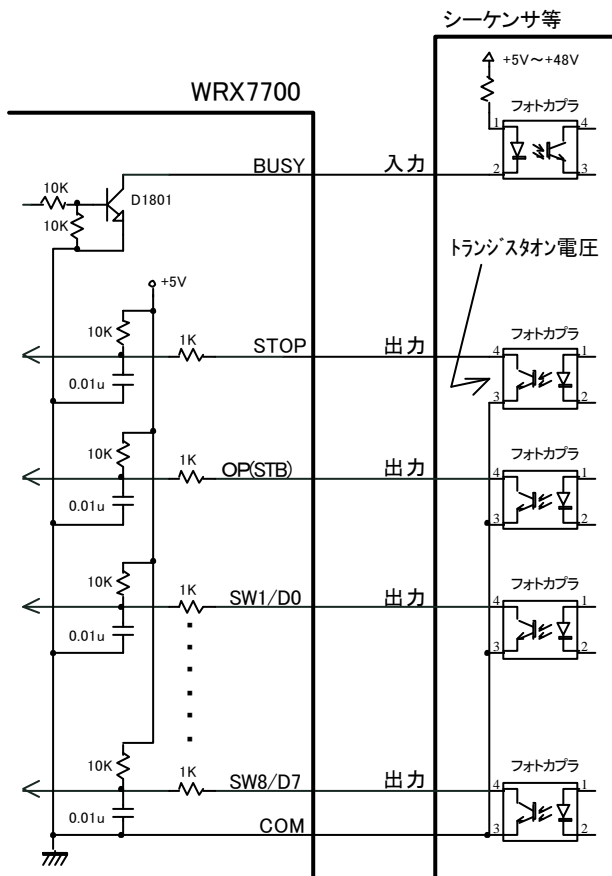
# VoiceNavi

## 接続参考図 WRX7700II/7800II (WRX7200)とシーケンサ等との接続



(お願い)

リレーのコイルをドライブする時はコイル間にサージ吸収用のダイオード（繰り返し尖頭逆電圧及び直流逆電圧は、外部のサージも考慮して 余裕のあるもの、また平均整流電流はコイル電流以上のダイオード）を付加して下さい。



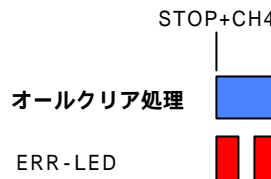
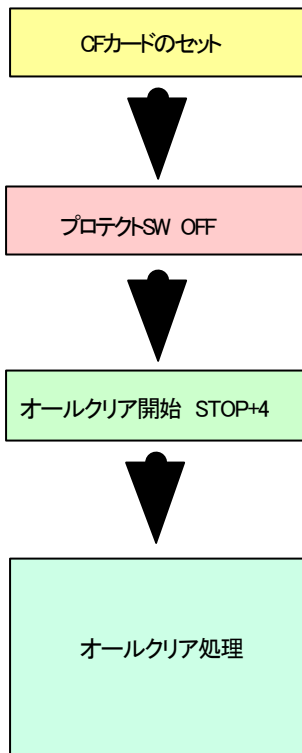
(注)

トランジスタのオン電圧が0.8V以下のものを御使用願います。

# VoiceNavi


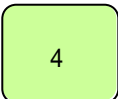
## オールクリア処理 (管理データファイル内容の消去) (注)録音済みの WAVE ファイル自体は消去していません

本処理は、カード内の管理データファイルの 管理データ (押しボタン・接点端子と該当する WAVE ファイルの関係) を消去します。



(注)  
 WAVE ファイル自体を削除するのではなく、その WAVE ファイルを管理する管理データファイルの内容を消去し、再生できない状態になっています。

(注)  
 途中で電源 OFF やカードの脱着を行いますとカードは完全に破損し、修復ができません。

プロテクト解除		全プロテクトの解除 MODE1-6 OFF 個別 CH プロテクトの解除 MODE2-1~4 OFF
オールクリア処理スタート	 + 	2 秒以内に CH4 スイッチを OFF にして下さい。 2 秒以上、CH4 が ON 状態の場合、CH4 を再生します。
オールクリア処理中	終了後 5 秒間 ERR-LED 点滅	

## 初期化処理(不良セクター対策) Windows パソコン上で「フォーマット」することを推奨します。

本処理は、処理時間が掛かります。Windows パソコン上で「フォーマット」することを推奨します。

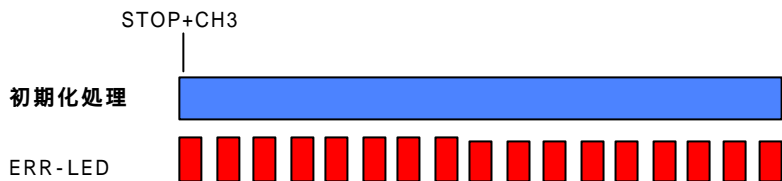
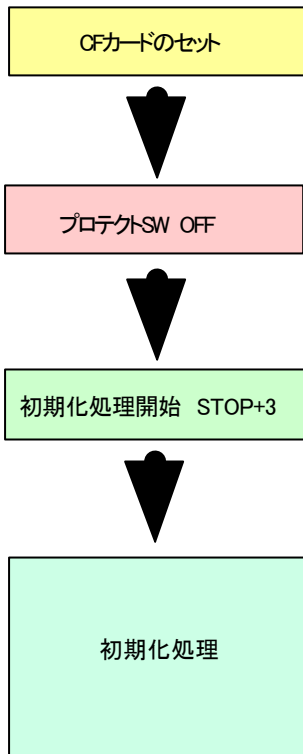
WRX シリーズ上の初期化処理と比べ、短時間でできます。

本処理の内容は、Windows パソコン上で「フォーマット」ではなく、スキャンディスク + データ削除と同等の内容です。

オールクリア処理と異なり、カードデータファイル( .wpj)と WAVE ファイル( .wav)のデータも削除します。

初期化処理の内容	不良セクター対策	Flash カード「コンパクトフラッシュ」内に不良セクターが存在する場合があります。不良セクターがあると録音時に、「音飛び」や「録音途中終了」などの現象が発生する場合があります。本処理を行うことにより、不良セクターを回避して録音ができます。
	データ全削除	上記の不良セクターの検出・回避以外に、本操作でカード内の全データを削除します。


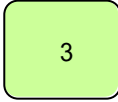
# VoiceNavi



初期化処理は時間がかかります。  
 32MB 約 4 分 64MB 約 12 分  
 128MB 約 24 分 256MB 約 48 分

(Windows パソコン上でのフォーマット推奨)  
 処理時間が短い、Windows パソコン上のフォーマットを推奨します。

(注)  
 本処理中、カードの脱着した場合、CF カード内のメモリ等は破損し、修理・復旧できません。

プロテクト解除		全プロテクトの解除 MODE1-6 OFF 個別 CH プロテクトの解除 MODE2-1~4 OFF
初期化処理スタート	 + 	2 秒以内に CH3 スイッチを OFF にして下さい。 2 秒以上、CH3 が ON 状態の場合、CH3 を再生します。 本処理中、カードの脱着した場合、CF カード内のメモリ等は破損し、修理・復旧できません。 <b>(注) 初期化処理した場合、全データは消去されます。</b>
初期化処理中	初期化中 ERR-LED 点滅 初期化終了 ERR-LED	初期化処理は時間がかかります。 32MB 約 4 分 64MB 約 12 分 128MB 約 24 分 256MB 約 48 分  途中で電源 OFF やカードの脱着を行いますとカードは完全に破損し、修復 できません。

# VoiceNavi

## 自己復旧機能(CPU 異常時アラーム出力)

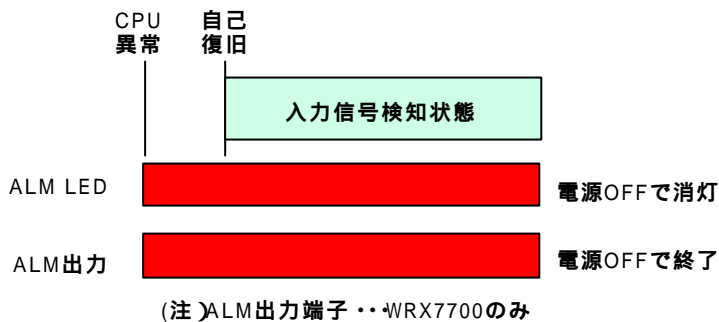
万一、外来ノイズ等により、WRX シリーズ上のCPUが暴走した場合に、ウォッチドッグタイマーによりCPUを強制リセットします。これにより、CPUはイニシャライズされ、入力信号待機状態になります。

WRX7200/7700 のCPUが暴走し、自己復旧したことを知らせるため、フロントパネルのアラームLEDは点灯し、電源をOFFするまで、保持します。( WRX7700 の場合、端子台出力 ALMも同様動作します)

万一、このような状態になった場合、電源ライン、信号ライン (スピーカー、ライン出力ラインも含む)などの周辺にノイズ発生源がないか、確認し、除去するか、ノイズ対策を行って下さい。

電

型式	LED 表示 (ALM)	ALM 出力端子
WRX7200 II	○	×
WRX7700 II	○	○
WRX7800 II	○	○



自己復旧以降も電源 OFF するまで、点灯を保持します。

周囲にノイズ発生源がある場合はノイズ対策をして下さい。

本機能は、外来ノイズ等による CPU 異常時、作動します。

CPU 以外の部品、回路等の故障等では作動しませんのでご注意下さい。

# VoiceNavi

## エラー対策シート(トラブルシューティング)

【パソコン・カードアダプタ・登録エディタ VoiceNavi Editor (VoiceMaker3)がない場合】

再生しない場合の簡単なチェック方法	カードデータファイル .wpj の有無 WAVE ファイル .wav の有無	全再生 (   STOP+SW1   )で全チャンネル (ファイル在中チャンネルのみ)再生。
-------------------	---	--

困った状態	LED表示	原因	対処方法
カードに録音できない	REC LED が点灯しない	プロテクト SW が ON になっている	プロテクト SW を OFF にする
	REC LED が点灯しない	登録エディタで登録した WAVE ファイル名が不適當	登録エディタソフトで登録した WAVE ファイル名が WRX***.wav になっていない。パソコン上でファイル名変更し、カードデータ作成し直し、コピーします。
	REC LED が点灯しない	カード不適合 またはカード故障	使用できないまたは不良のコンパクトフラッシュです。 他メーカーのコンパクトフラッシュをお試し下さい。
録音時、「音飛び」して、途中終了	REC LED 点灯し、途中消灯	不良セクターを検出	STOP+SW4 ON で初期化処理してから、録音します。 または Windows パソコン上でフォーマットしてから録音。
再生時の音量が小さい		音量ボリューム 「小」	再調整
		録音時の入力レベルが小さい	再録音。 パソコン・カードアダプタがある場合、録音ソフトで増幅します。
再生時、ビットノイズ		レベルオーバーで録音	レベルオーバーした箇所がビットノイズになります。 この場合、再録音しか対処方法はありません。
再生時、全体的にノイズが多い。		マイク入力の場合、周囲の音まで拾っている	静音環境下、44.1KHz 16Bit(または 22.05KHz 16Bit)で録音し直します。
音割れしている		音量ボリューム	再調整
再生しない接点・アドレスがある		接続ミス	接続参考図を参照の上、再接続
	PLAY の LED が点滅 *1	その接点・アドレスに対応したデータがない	録音していない CH
まったく再生しない		録音していない	録音していない
		音量ボリューム 「小」	再調整
		接続ミス	コネクタの接続を点検し (特に COM 端子部) 再接続
		制御ミス	データのない CH を再生制御している
初期化処理ができない。 オールクリア処理ができない。		再生モード設定ミス	再生モードを確認し、再設定
		全プロテクト SW	OFF にする
		登録エディタソフトで登録した WAVE ファイル名が不適當	登録エディタソフトで登録した WAVE ファイル名が WRX***.wav になっていない。パソコン上でファイル名変更し、カードデータ作成し直し、コピーします。
	カード不適合 またはカード故障	使用できないまたは不良のコンパクトフラッシュです。 他メーカーのコンパクトフラッシュをお試し下さい。	

(注) \*1 再生の起動時にPLAYのLEDが点滅します。STOP入力にて消灯します。

# VoiceNavi

## 登録エディタソフト VoiceNavi Editor でカード作成したカードの場合】

Windows パソコン、カードアダプタ、登録エディタ VoiceNavi Editor (VoiceMaker3) があることを前提とします。  
 カードアダプタ経由で CF カードへダイレクトにアクセスで きますが、事前に CF カードの内容をハードディスクへバックしてから行って下さい。

困った状態	LED表示	原因	対処方法
あるチャンネルが再生しない	PLAY LED 点滅 *1	コピー漏れその接点・アドレスに対応した WAVE ファイルがない	CF カードへコピー時、その WAVE ファイルをコピー漏れした。その WAVE ファイルを CF カードにコピーします。
		コピー異常	CF カード内に WAVE ファイルがあるが、再生できない現象。CF カードへその WAVE ファイルへコピー。それでも再生しない場合は、CF カードをフォーマットし、カードデータをコピーして下さい。
		WRX シリーズに適應していない WAVE ファイル	パソコン上でも再生できても、WRX シリーズ上では再生できない。主にどこかからコピーした効果音等。
まったく再生しない	PLAY LED 点滅 *2	CF カードが DOS フォーマットされていない	デジタルカメラでフォーマットした場合、発生する場合があります。CF カードをフォーマット後、カードデータ( .wpj ファイル、WAVE ファイル )をコピーします。
	PLAY LED 点滅 *2	カード内にカードデータファイルがない	VoiceNavi Editor でカード内の .wpj ファイルを読み込み、レポート出力して確認。データファイルがない場合、VoiceNavi Editor で作成し、コピーします。
	PLAY LED 点滅 *1	WAVE ファイルがカード内にない	VoiceNavi Editor でカード内の .wpj ファイルを読み込み、レポート出力して確認。ない場合、WAVE ファイルをコピーします。
	PLAY LED 点滅 *1	WAVE ファイル名が認識できない	ファイル名に使用できる文字は「数字と大/小のアルファベットの半角 8 文字までです。ファイル名変更後、再度 VoiceNavi Editor にて編集・作成を行ないます
		録音していない	録音していない
		音量ボリューム「小」	再調整
		接続ミス	コネクタの接続を点検し (特に COM 端子部) 再接続
		制御ミス	データのない CH を再生制御している
		再生モード設定ミス	再生モードを確認し、再設定
	ボタン、接点端子と再生するチャンネルが一致しない		アドレス登録ミス
		接続ミス	コネクタの接続を点検し (特に COM 端子部) 再接続
		制御ミス	データのない CH を再生制御している
組立再生しない リピート回数再生しない、回数が違う		プログラム登録ミス	VoiceNavi Editor で CF カード内のカードデータファイル .wpj を読み込み、アドレス・プログラム登録画面で PLAY/ALL PLAY で試聴。登録ミスの場合、登録変更し、カード作成後、CF カードへコピー。
ALM ランプが点灯している		ノイズ等で CPU 暴走	何らかのノイズで CPU が暴走しました。自己復旧機能でリセットしますが、ALM LED は電源 OFF まで保持します。ノイズ対策を行って下さい。

(注) \*1 PLAY LED 点滅 STOP 入力にて消灯します。

(注) Windows95/98/Me/NT/2000/XP は Microsoft 社の商品名・商標登録です。

その他の商品・社名は各社の商標または登録商標です。本書記載の仕様・概観は改良等により、予告なく変更になることがあります。

## VoiceNavi 三共電子株式会社

〒389-1102 長野県長野市豊野町大倉3500-17 TEL 026-257-6210 FAX 026-217-2893

URL <http://www.voicenavi.co.jp/> E-mail:info@voicenavi.co.jp